

KIYOHARUSIRAKABABIJUTUKANMINAMI-SITE

清春白樺美術館南遺跡

(新)長坂町郷土資料館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査



2003. 3

長坂町教育委員会

KIYOHARUSIRAKABABIJUTUKANMINAMI-SITE

清春白樺美術館南遺跡

(新)長坂町郷土資料館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

2003. 3

長坂町教育委員会

序

長坂町は広大な八ヶ岳南麓のほぼ中央に位置し、国蝶オオムラサキの生息地として全国的に知られているように、自然に恵まれた高原の町です。それとともに、県内でも最大規模を誇る縄文時代の大集落である酒呑場遺跡をはじめ、およそ200ヶ所に上る遺跡の密集地帯としても知られています。

長坂町教育委員会では各種の開発事業に際し、このように数多い遺跡の保護をはかりつつ、必要に応じて発掘調査を実施し、記録として遺跡の内容を後世に伝えるための文化財保護事業を推進しております。

本書は平成13年度に新しい長坂町郷土資料館建設にともない発掘調査を実施した清春白樺美術館南遺跡の調査報告書です。清春白樺美術館南遺跡の所在する中丸地区は、これまで他の地区と比べ開発があまりなく、発掘調査事例も少ない所です。縄文時代前期末や晩期末の土器がまとまって出土した新宿区健康村遺跡、縄文時代中期の住居跡が発見された東蕪4遺跡など数遺跡が調査されているだけです。

今回の調査で、清春白樺美術館南遺跡から縄文時代の集落が多数の遺物とともに発見されました。中でも、縄文時代前期末の土器がまとまって出土し、資料の乏しい該期の様相の解明に寄与する貴重な資料となりました。また、大深沢川を挟んで向かい合う酒呑場遺跡と同じ時期に営まれた縄文時代中期中葉の集落が発見され、大規模集落と小規模集落の様相が比較できることは大変興味深いものと言えるでしょう。

最後に、清春白樺美術館南遺跡の調査にあたり、格別なご理解をいただいた中丸地区の皆様をはじめとする関係各位に厚く御礼申し上げます。本書が広く教育や研究の場で活用されることを期待しています。




2003年3月

長坂町教育委員会
教育長 小尾章臣

例 言

1. 本書は、2001（平成13）年度に実施した山梨県北巨摩郡長坂町中丸字岡久保地内に所在する清春白樺美術館南遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、(新)長坂町郷土資料館建設に伴う事前調査であり、長坂町役場産業課より委託を受けて長坂町教育委員会が実施したものである。
3. 本書の執筆・編集は、村松佳幸（長坂町教育委員会学芸員）が行った。
4. 発掘調査および整理作業において一部の調査・業務を以下の各機関・各位に委託および依頼した。
基準点測量・航空測量 藤フジテクノ
一部の遺物実測・トレース 堀東堂
5. 遺構・遺物の写真撮影は村松が行った。
6. 本報告書に関わる出土品及び記録図面・写真等は、長坂町教育委員会に保管している。
7. 発掘調査および報告書作成にあたっては、多くの方々に多大なご指導、ご教示を賜った。深く感謝の意を表す次第である。

凡 例

1. 掲載した遺構・遺物実測図の縮尺は、原則として下記のとおりである。
遺構 調査区全体図：1/300
住居跡：1/60 炉：1/30 溝：1/120
遺物 縄文土器：1/3または1/4
石鏃・石匙・石錐・削器・掻器・楔形石器・バステル形石器・小型磨製石斧・砥石・旧石器と思われる石器・垂飾・土製耳飾・土偶・杓形土製品・焼成粘土塊：2/3
黒曜石原石：1/2
打製石斧・横刃形石器・人形粗製石匙・磨石類・礫器・磨製石斧・石錐：1/3
石皿・台石・多孔石：1/6
2. 遺構図版中の遺物分布図のマークは各図版中に示してある。
3. 遺構・遺物図版中のスクリーントーンは以下のとおりである。
焼 土  主柱穴 、
石器作業面 、
4. 拓影図で両面を載せているものは、外面-内面-断面の並びで配置している。
5. 遺構および遺物写真の縮尺は統一されていない。
6. 遺構図中の断面図層にある数値は標高を示す。
7. 第2図は、国土地理院発行1/200,000地勢図「甲府」・「長野」を基に作成した。
8. 第3図は、株式会社写真測量2000年測製、1/25,000長坂町全区（国土地理院発行1/25,000地形図を複製したもの）を基に作成した。
9. 第4図は、四野航業株式会社1994年測製1999年修正、1/10,000長坂町全区を基に作成した。

清春白樺美術館南遺跡目次

序	
例言・凡例	
本文目次	
改版目次	
表目次	
写真図版目次	
第1章 調査の経過と概要	1
第1節 発掘調査に至る経過	1
第2節 発掘調査の概要	1
第3節 発掘調査組織	1
第2章 遺跡の立地と環境	1
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	2
第3章 発見された遺構と遺物	3
第1節 基本層序	3
第2節 住居跡	3
第3節 土坑	5
第4節 その他	6
第5節 遺構外出土遺物	6
第4章 発掘調査の成果	6
第1節 縄文時代前期末について	6
第2節 井戸尻式終末～曾利Ⅰ式の変遷について	7
引用・参考文献	7
挿図 井戸尻式終末～曾利Ⅰ式の変遷	8

図版目次

第1頁	清春白樺美術館南遺跡位置図	9
第2頁	ハッ岳南麓主要遺跡分布図	9
第3頁	清春白樺美術館南遺跡周辺の遺跡分布図	10
第4頁	清春白樺美術館南遺跡調査区位置図	11
第5頁	調査区全体図	12
第6頁	遺構分布図①	13
第7頁	遺構分布図②	14
第8頁	遺構分布図③	15
第9頁	遺構分布図④	16
第10頁	基本層序、1号住居跡	17
第11頁	1号住居跡石囲炉、遺物出土状況	18
第12頁	2号住居跡出土遺物①	19
第13頁	1号住居跡出土遺物②	20
第14頁	1号住居跡出土遺物③	21
第15頁	1号住居跡出土遺物④	22
第16頁	2号住居跡	23
第17頁	2号住居跡囲炉、遺物出土状況	24
第18頁	2号住居跡出土遺物①	25
第19頁	2号住居跡出土遺物②	26
第20頁	2号住居跡出土遺物③	27
第21頁	2号住居跡出土遺物④	28
第22頁	2号住居跡出土遺物⑤	29
第23頁	2号住居跡出土遺物⑥	30
第24頁	3号住居跡、炉、出土遺物①	31
第25頁	3号住居跡出土遺物②、遺物出土状況	32
第26頁	4号住居跡、炉	33
第27頁	4号住居跡出土遺物、遺物出土状況	34
第28頁	5号住居跡	35
第29頁	5号住居跡埋燗炉、ピット1、遺物出土状況	36
第30頁	5号住居跡出土遺物①	37
第31頁	5号住居跡出土遺物②	38
第32頁	5号住居跡出土遺物③	39
第33頁	6号住居跡	40
第34頁	6号住居跡出土遺物、遺物出土状況	41
第35頁	7号住居跡、石囲炉	42
第36頁	7号住居跡出土遺物、遺物出土状況	43
第37頁	1・13号土坑	44
第38頁	9・10号土坑	45
第39頁	11・12号土坑	46
第40頁	14・15・17・18号土坑	47
第41頁	16号土坑	48
第42頁	19・26・28号土坑	49
第43頁	21・22号土坑	50

写真図版

第44図	20・23・24・27号土坑	51
第45図	土坑出土遺物①	52
第46図	土坑出土遺物②	53
第47図	土坑出土遺物③	54
第48図	土坑出土遺物④	55
第49図	1号溝、出土遺物	56
第50図	遺構外出土遺物①	57
第51図	遺構外出土遺物②	58
第52図	遺構外出土遺物③	59
第53図	遺構外出土遺物④	60
第54図	遺構外出土遺物⑤	61
第55図	遺構外出土遺物⑥	62
第56図	遺構外遺物	63
第57図	副金区遺物出土状況	64

表目次

第1表	遺跡地名表	10
第2表	土坑一覧	65
第3表	住居内ピット一覧	66
第4表	石器・土製品観察表①	67
第5表	石器・土製品観察表②	68
第6表	石器・土製品観察表③	69
第7表	遺構別出土土器一覧表①	70
第8表	遺構別出土土器一覧表②	71
第9表	遺構別出土石器（黒曜石）一覧表	72
第10表	遺構別出土石器（黒曜石以外）一覧表	73

図版1	調査区全景（南から）、調査区全景（真上から）
図版2	1号住居跡、1号住居跡石囲炉、1号住居跡石 掘り遺物出土状況、1号住居跡石皿出土状況、 2号住居跡、2号住居跡炉周辺遺物出土状況、 3号住居跡、4号住居跡
図版3	5号住居跡、5号住居跡埋燬坑①、5号住居跡 埋燬坑②、5号住居跡ピット2遺物出土状況、 5号住居跡ピット1遺物出土状況①、5号住居 跡ピット1遺物出土状況②、6号住居跡、7号 住居跡
図版4	9（左）・10（右）号土坑、11号土坑、12号土坑、 12号土坑遺物出土状況、13号土坑、13号土坑遺 物出土状況、14（右）・15（左）号土坑、17号土 坑
図版5	16号土坑、16号土坑遺物出土状況①、16号土坑 遺物出土状況②、16号土坑遺物出土状況③、18 号土坑、19号土坑、20・23・24・27号土坑、21・ 22号土坑
図版6	出土遺物①
図版7	出土遺物②
図版8	出土遺物③

第1章 調査の経過と概要

第1節 発掘調査に至る経過

長坂町は、大八田町内にある長坂町郷土資料館の老朽化に伴い、新たな郷土資料館建設を検討していた。2001(平成13)年12月の長坂町議会にて、中丸地内にある清春白樺美術館に近接する土地に建設することが承認された。建設予定地が休耕畑であり、埋蔵文化財包蔵地外にあっていたが、遺跡の近接地であることから、翌2002(平成14)年1月に試掘調査を実施した。その結果遺跡が存在することが確認され、事前の発掘調査を実施することとなった。

2001(平成13)年12月に長坂町から山梨県教育委員会教育長あてに埋蔵文化財発掘の通知が提出され、長坂町教育委員会による直営方式の発掘調査を実施した。調査は2002(平成14)年1月22日から開始し、同年3月28日に終了し、調査期間は約2ヶ月を要した。整理作業は2002(平成14)年7月から開始し、翌2003(平成15)年3月に終了した。

第2節 発掘調査の概要

(新)長坂町郷土資料館建設予定地は敷地面積約1,800㎡であり、本体建設に係る約1,800㎡を発掘調査した。調査区に発掘調査・遺構測量の基準として10m間隔のグリッドを設定し、西から東方向に1～6、北から南方向にA～Hとグリッド番号を付けた。

調査は、重機により表土を剥ぎ、その後人力で遺構輪廓面まで掘削していった。遺構輪廓面に至ると丁寧に精査を行い、順次遺構を確認していった。遺物は原則として光波測量機で出土位置を記録し、遺構を確認した後は、その遺構の範囲の中から出土しているものについて、その遺構出土のものとして取り上げていった。

遺構は土層断面・遺構平面図・遺物出土状況図等を、必要に応じて平板実測あるいは簡易造り方等の手作業により図化していった。全体図は空中写真測量で図化した。また、調査の状況に合わせて、写真撮影を行った。

調査後は、整理作業を平成14年度に行った。

発見された遺構は、縄文時代中期中葉～後葉の竪穴住居跡7軒、土坑18基、溝1条、焼土跡4基である。出土遺物は、縄文時代前期後葉～後期初頭・晩期後半の土器・土偶・土製耳飾・焼成粘土塊・石器・垂飾等が出土している。特に縄文時代前期末の十三器型式・中期後葉の骨刺I式の土器が比較的まとまって出土しており、銀久保B3式も確認されている。

第3節 発掘調査組織

専業主休	長坂町教育委員会		
事務局			
教育長	瀬戸龍徳(～平成14年3月) 小尾章臣(平成14年4月～)		
教育課長	三井茂(～平成14年7月) 小尾章臣(兼任・平成14年8月～)		
教育係長	望月利夫(～平成14年3月) 日向勇美(平成14年4月～)		
調査担当	村松佳幸		
発掘作業員	横山幸男	酒府山孝吉	藤田繁昌
	宮原征人	小林裕	渡辺早月
	大柴富子	畑梅子	名取初子
	小尾トヨ子	清水純代	清水三恵
	小沢よし江	田中利美	伴山たけの
	長沼欣一	藤原照世	
	牧野慎一	茂富君法	小杉秀幸
	矢花由希子	(創備大学学生)	
整理作業員	石川昭江	小澤楓子	清井ゆき枝
	井川仁美	有野明子	日向登茂子
	秋山かつる	小林立枝	小林敏恵

第2章 遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

本遺跡の所在する北巨摩郡長坂町は、山梨県の北西部に位置し八ヶ岳南麓に立地する、南北約18km、東西約6kmの細長い町である。八ヶ岳の山体が崩壊し起こった苗崎火砕流によって形成された台地上にあり、標高は北端の八ヶ岳権現岳が頂点で2,786m、南端はJR上野原駅の南側で約490mである。標高1,200m以上が急峻な山岳地帯になっており、それ以下は比較的緩やかな地形で、八ヶ岳南麓高原や長板台地、八ヶ岳南麓低地等が広がる。長坂町南端より南は、泥流台地を釜無川と塩川の浸食作用によって形成された通称七里岩と呼ばれる浸食崖が形成されている。

八ヶ岳南麓には、比較的多くの湧水があり、これを水源とする小河川は南流し浸食作用によっていくつもの舌状台地を形成している。台地上は水利が悪いので、豊富な水量の湧水を引いて開発した灌漑用水や灌漑用溜池が数多く、県下で最も溜池の多い地域となっている。また、それを利用して水稲耕作が行われ、古くから八ヶ岳南麓地域でも有数の水田地帯となっている。

本遺跡の所在する中丸地区は、町中央の内寄りに位置し、地区の中央を大深沢川が南流する。西側は小深沢川が流れ、南は七里岩と呼ばれる段丘崖になっている。台地上にも小河川による浸食によって大小の尾根状台地が形成されている。本遺跡もその一つに立地する。南にある七里岩の段丘崖を下ると釜無川に至り、国道20号線に出ることができる。

第2節 歴史的環境

八ヶ岳南麓は、山梨県内でも有数の遺跡密度の高い地域である。その中でも長坂町には数多くの遺跡が分布し、これまでに208ヶ所確認されている。本遺跡のある中丸地区にも遺跡が数多く存在し、そのいくつかが発掘調査されている。

新宿区健康村遺跡は、本遺跡の北約800mのところに所在する。阿遺跡とも大深沢川と小深沢川とに挟まれた台地上に立地している。新宿区民の総合的余暇活動施設である「新宿区民健康村」の建設にともない、1992（平成4）年8月～11月にかけて新宿区民健康村遺跡調査団により発掘調査された（板倉1994）。A・B・D・G地区の4ヶ所を調査し、その調査面積の合計は約24,800㎡におよぶ。

縄文時代の竪穴住居跡2軒、平安時代の竪穴住居跡14軒、土坑22基、竪土跡2基、埴輪3基、石組土坑6基、竪穴状遺構3基、屋外炉3基、溝1条等が発見された。出土遺物は、ナイフ形石器・縄文土器（前期末～中期初頭・中期後半・後期初頭・晩期末）・土師器・灰釉陶器・石器・鉄器等である。特に注目されるのはE地区から縄文時代晩期終末の土器群がまとまって出土したことである。報告書の中で小林育樹氏は氷1式の細分において健康村遺跡段階を提唱している（小林1994）。また、自然科学分析で平安時代の白州系土師器（黒色土器）の胎土分析を蛍光X線分析したり、材肉定、種実同定、植物珪酸体の分析を行ったりと質の高い報告がなされている。

越中久保遺跡は本遺跡から北東へ2.4km離れた所にあり、平成11（1999）年度に匝場整備に先立ち発掘調査された（小宮山1999）。低湿地とそれを挟むように存在する微高地に調査区が設定され、縄文時代中期後半の住居跡4軒、方形柱穴跡3基、土坑38基、ピット200余基、溝2条等が発見され、縄文時代早期押型土器・早期末～早期初頭・前期後半～後期前半までの幅広い年代の土器が出土した。なお、2号住居跡の西面が周辺から大量の炭化材が出土し、その一部に炭状の材に自然か人工か判断は出来ないが、ほぞ穴に似た穴が確認できた。それらの炭化材は生居構造材とは言えず、炉周辺にしか確認され

なかったで、どのような性格のものであったかは今のところ不明である。

東薫4遺跡は、本遺跡から北西へ1.5km離れた小深沢川右岸の台地上に立地し、集落遺址掘削工事に伴い発掘調査された（小宮山2002）。縄文時代中期の竪穴住居跡1軒、土坑8基、ピット5基、集石遺構1基が発見され、縄文時代早期末～前期初頭・中期～後期の土器・中世の古銭が出土している。道路の幅幅が2mなので、発見された遺構も特筆すべきものはないが、管形Ⅲ～Ⅴ式・刃管形E4式等中期末の土器片が比較的多く出土した。

西薫宮遺跡は、本遺跡から北西約1.2kmの所にあり、堆肥倉建設に先立ち発掘調査された（村松2002）。平安時代の住居跡3軒、土坑5基、ピット23基が発見され、縄文時代の土器・石器、平安時代の上土師器・須土器・灰釉陶器・鉄製紡錘車・砥石等が出土した。1号住居跡は1辺が約3m四方の住居跡で比較的小さく南東隅にカマドが構築されていた。

また、本遺跡から東へ100mの所に中丸岩跡がある。大深沢川に面した尾根の南端に位置し、「甲斐国志」の中に「中丸ノ旧蹟 中丸村 村六に三方断えたる孤山あり。その行きつまり、方一町許りの處、即ち本丸なり。北は原野に続き、窪窪歴然たる要害。里人は逸見清光の墓と云ひ伝う。中丸と云う村名、城虚に由り起ると見え……」と記載されている。

大深沢川を挟んで本遺跡のある台地の対岸には、県内を代表する縄文遺跡の酒呑場遺跡・長坂上条遺跡がある。

長坂上条遺跡は、昭和15年史前学研究所の大山柏氏を中心に県内初の学術調査が行われた遺跡として有名である（大山柏他1941）。縄文時代後晩期の配石器群が発見され、弥生時代の遺物も出土している。

現山梨県盛産試験場地内にある酒呑場遺跡は、縄文時代前期から後期にかけての大集落跡である。1991（平成6）～1996（平成8）年に山梨県教育委員会によって発掘調査が実施され、縄文時代前期～中期の住居跡200軒以上が発見されている（野代1997、保坂1997-1998）。遺物も、縄文時代中期を主体にして早期～後期までの土器・石器が整理箱1,400箱分にもほぼ、極めて多量の遺物が出土している。中でも漆塗りの土器片、ヘスイ原石および糸師、土鍋、玖状耳師、サメの歯状歯師、土埴、土製着等が注目し、遺物の内容も豊富である。

長坂上条遺跡と酒呑場遺跡は台地の上下の関係で位置しており、縄文時代の中期までは台地上の平坦部に集落を構え、後期になると台地の下の低地へ集落を移動していったと考えられる。

第3章 発見された遺構と遺物

第1節 基本層序

本遺跡の基本層序は単純である。表土層の下に遺物包含層である褐色土があり、その下は黄褐色土となる。遺構は黄褐色土上に構築されている。しかし、褐色土と黄褐色土との境が漸次的に変わっているのとはっきりとせず、遺構の輪郭を捉えるのに苦労した。

第2節 住居跡

1号住居跡〔第10・11図〕

〔位置〕G-3・4グリッド。調査区南端に位置する。
〔重複〕3号住、17・77・136号土坑と重なる。(形状) 円形である。(規模)長軸5.35m、短軸5.02m、深さ0.073～0.143m。(床面)硬化面は確認できなかった。(施設)石囲炉が中央やや北寄りにある。地面を掘り込み、20～40cmほどの縄を長方形に配置している。炉の南西隅の下にピットがあった。石囲炉の南西に焼土跡が確認できた。主柱穴は配置から4本と考えられるが、炉の直ぐ北側にピットが確認でき、それも柱穴の可能性もある。

〔遺物〕第12～15図。1は管割I式古段階のものである。口縁部は無文で、直線的に広がっている。胴部は張り出している。頸部に横位波状隆線2条とその上下に降線が施されており、渦巻文が噴付されている。そこから2本の刻みを持つ降線が砥下する。刻みは棒状工具による刻みである。地文は条線であるが、その中に半截竹管の内皮による連続押圧を施した箇所が確認できる。

2は縄文地文の上層、3は弧を描いたようなモチーフの施される縄文地文の鉢形土器で、井戸瓦式であろう。12は口縁部に隆線による垂下文を持っているので、管割I式古段階のもと考えられる。

〔遺物出土状況〕第11図。住居跡中央に遺物分布は多いが東端付近でも遺物の集中が見られる。1の上層は石囲炉周辺に多く散らばっていた。

〔時期〕1・12から管割I式古段階と考えられる。

2号住居跡〔第16・17図〕

〔位置〕F・G-3グリッドに位置する。(重複)3号住居跡と重なる。(形状)一部調査区外であるが、不整な円形を呈する。(規模)長軸6.68m、短軸5.62m、深さ0.243～0.375mである。(床面)硬化面は確認できなかった。

〔施設〕中央北寄りに炉が確認できた。その周辺に大竈が出土しているの、石囲炉であったものが壊されてしまった可能性がある。主柱穴は7本である。主柱穴の内

側にもいくつかのピットがあり、炉を囲っているように見えるので、それも主柱穴と捉えることもできる。内側から外側へ住居が拡張された可能性も考えられる。

〔遺物〕第18～23図。1は頸部が膨らむ器形をしている。隆線には半截竹管による連続押圧が施される。2は頸部に5受の横位隆線を持ち、その下段に渦巻文を持つ。渦巻文からU字状に胴部文様が施され、U字の内側には十字の垂下文がある。隆線上の刻みは半截竹管による連続押圧である。

3は頸部に罎状の張り出しを持つ。その下には横位波状隆線が施され、ミミズク状の把手がつく。4は2本の隆線による垂下文があり、一部に角状の文様がある。隆線上の刻みは棒状工具によるものである。地文の条線はやや幅広くある。

5は胴部にU字状とI字に似た文様が施されたものである。口縁部はやや内湾し、胴部は少し張りがある。ミミズク状の突起が4単位ある。6は頸部に横U字の降線を重ねながら3段に貼付している。3段目に横長のミミズク状突起があり、そこから垂下文が施される。張り出した胴部をもつ。

7は頸部に3本の横位降線の間に横位波状隆線を施している。垂下文があり、その付け根の両側にU字状の文様を付けている。隆線上の刻みは棒状工具によるものである。8は頸部が3段あり、1段目にミミズク状突起の間に横長のS字状文が施され、2段目に横位波状隆線のように見える幅広隆線に交互斜突を施した文様があり、渦巻文が行く。3段目に半截竹管による連続押圧が施された隆線がある。渦巻文からU字状文が伸びていく。

9は把手である。尚ほ巻いておらず、幾何学的な文様が施されている。10は口縁部の突起である。大きめの渦巻文の下にW字状文があり、その両側に2本の隆線で区画される。11は大型の長胴器であり、頸部に格子状文を持つ。胴部は先端に渦巻文をもつ大型のU字状文が施され、頸部及びU字状文の脇に波状粘土紐が貼付される。U字状文は幅広の粘土帯を貼り付けた後その上を沈線で施文している。口縁部は口唇部近くで屈折する。

〔遺物出土状況〕第17図。遺物は住居跡の中央を中心に多量に出土している。出土レベルも床直から覆土の上層にかけて切れ目なく出土している。

〔時期〕管割I式古段階の土器〔1・5・6・7・8・9・10〕が多数出土しているのでその時期と考えられる。

3号住居跡〔第24図〕

〔位置〕G-3グリッドに位置する。(重複)1・2号住居跡と重なる。(形状)壺が確認できないので不明である。

(想定では円形にしている。) (規模) 不明。(床面) 硬化面は確認できなかった。(施設) 焼土が確認できた。その南側には人糞が置かれていた。主柱穴は6本であろう。

(遺物) 第24・25回。復元出来るような遺物は出土していない。曽利Ⅰ式の上器片が多い。

(遺物出土状況) 第25回。出土遺物はまばらである。1・2号住居跡と比べると遺物分布の中心がはっきりしない。

(時期) 出土土器も破片資料だけなので、はっきりと断定はできないが、横位波状隆線をもつものが多かったり、隆線に刻みをもつものが少なかったりするので、曽利Ⅰ式新段階と考えられよう。

(備考) 住居跡と土柱換は、焼土跡とその周辺を巡るピットが確認できたことである。しかし、そのピットはしっかりと掘られたものではなく、また、住居の立ち上がりを確認できなかったので、住居ではない可能性も考えられる。

4号住居跡 [第26回]

(位置) B・C-3・4グリッドに位置する。(重複) なし。(形状) 円形である。(規模) 長軸4.72m、短軸4.44m、深さ0.069~0.252m。(床面) 硬化面は確認できなかった。(施設) 調査区中央やや北寄りにある上坑が窺であらう。他の住居跡のように焼土がはっきりと確認できた訳ではなく、その埋土中にも焼土粒がないので、確実に如とは言い切れない。主柱穴は6本である。2P-3P間、4P-5P間の間にそれぞれピットがある。長軸方向で左右対称になっているのは興味深い。

(遺物) 第27回。破片資料だけである。井戸尻式が多い。(遺物出土状況) 第27回。住居中央を中心に分布しているが、比較的数量は少ない。

(時期) 5~7及び4号住居跡の近くから第50回38の井戸尻式の大喉把手が出土しているので井戸尻式期と考えられる。

5号住居跡 [第28・29回]

(位置) C・D-5グリッドに位置する。(重複) 1号溝に切られている。(形状) 一部洞室区外であるが、円形を呈する。(規模) 長軸残存5.66m、短軸5.9m、深さ0.122~0.305m。(床面) 硬化面は確認できなかった。(施設) 住居中央やや北東寄りに煙突がある。その近くには白石が出土した。炉内の焼土はあまり発達していない。主柱穴は6本である。6P-7P間に貯蔵穴と思われる1Pがある。この住居跡も2号住居跡と同じように主柱穴の内側にいくつかのピットがあり、それが主柱穴になる

可能性がある。5号住居跡からは十三弁装土器が比較的多く出土しているため、その時期の住居跡があった可能性も考えられる。

(遺物) 第30~32回。1・2は梨久保B式である。1は4つの突起をもち、そこから螺旋状の粘土細装飾が付く。L線部には重凸文が隆線で施され、その上に一部横位隆線で連結させている。頸部は無文である。2は対向する櫛形文がある。3は突起状の装飾部である。上から渦巻文、ミミズク状突起と渦巻文、W字状文、ミミズク状突起が施される。L線部内側には横長のミミズク状突起がある。

4は炉に使用されていたものである。L線部が内湾し胴部が直線的であり、曽利Ⅰ式の典型的な櫛形をしている。L線部に隆線による文様が、胴部には隆線による垂下文が施され、地文は懸糸文である。図示はしなかったが、L線部には突起状に膨らむと思われる所が1ヶ所ある。上層の裏面は、焼かれたためであろうか、ひどく荒れている。

7~19は前期末の土器で、比較的多く出土している。20・21はくびれ部に爪形文を施す東海系の土器である。

37は杓子形土製品で、柄の部分が螺旋状になっている。(遺物出土状況) 第29回。住居中央を中心として全体から出土している。出土状況区の高奥の空白部は1号溝に切られていたためである。1Pからは1・2と一緒に出土している。出土レベルが床面からやや浮いた状態に見えるが、床面と住居覆土の色の区別がしづらく、床を掘りすぎている可能性がある。

(時期) 炉に使用されていた4から曽利Ⅰ式古段階と考えられる。

6号住居跡 [第33回]

(位置) B-4・5グリッドに位置する。(重複) 1号溝に切られ、19~27号上坑と重なる。(形状) 不明。(規模) 不明。(床面) 硬化面は確認できなかった。(施設) 焼土と西側の壁の一部が確認できただけである。主柱穴は確認できなかった。25・26号土坑が位置や大きさから考えて、主柱穴になる可能性も指摘できるが、断定は避けておく。

(遺物) 第34回。19~27号上坑は前期末のものが多いので、それを掘り込んだためであろうか、その時期の土器が多い。

(遺物出土状況) 第34回。焼土周辺に散在に分布する。(時期) 時期の決め手になるようなものはないので、はっきりしない。前期末より新しく、おそらく中期中葉であろう。

7号住居跡【第35区】

〔位置〕C・D-3グリッドに位置する。(重複)161・162号土坑と重なる。(形状)円形を呈する。(規模)長軸5.32m、短軸4.92m、深さ0.33mである。(床面)硬化面は確認できなかった。(施設)住居中央や北寄りに石囲炉がある。扁平な礎で構成されているが、一部礎がない。支柱穴は6本である。

〔遺物〕第36区。1は井戸尻式である。楕円区画文を持ち、その上下の隆線に半截竹管の内皮による連続押圧を施している。2は口縁部が無文で胴部に十字の垂下文がある。地文は幅広の条線が施されているので、曾利I式に近い。3・4は井戸尻式の縁部の口縁部であり、接合はしなかったが同一個体である。

〔遺物出土状況〕第36区。住居中央を中心に分布するが、遺物量は比較的少ない。

〔時期〕1～4より井戸尻式終末と考えられる。

第3節 土坑

1号土坑【第37区】〔位置〕C-1・2グリッド。(重複)なし。(形状)不整楕円形。(遺物)第45区1。縄文中期の土器である。(遺物出土状況)花崗岩の剥片が散らばっていた。(時期)縄文中期であろう。

9号土坑【第38区】〔位置〕E-2グリッド。(重複)10号土坑を切っている。(形状)不整な円形をしている。(遺物)第47区71・72は磨石類である。(遺物出土状況)覆土の上層の中央から礎が密集して出土した。いくつかの礎は赤化していた。(時期)縄文前期末。

10号土坑【第38区】〔位置〕E-2グリッド。(重複)9号土坑に切られている。(形状)円形。(遺物)第45区7の十三善提式が出土している。(遺物出土状況)覆土中にまんべんなく礎が出土している。第45区7は中層から出土した。(時期)縄文前期末。

11号土坑【第39区】〔位置〕B-4グリッド。(重複)重複してはいるが、12号土坑と隣接している。(形状)円形。(遺物)第45区8～16、第47区73・74。8～16は縄文前期末の土器である。(遺物出土状況)土坑中央を中心に十三善提式や黒曜石片が数多く出土している。(時期)縄文前期末。

12号土坑【第39区】〔位置〕B-4グリッド。(重複)重複していないが、11号土坑と隣接している。(形状)円形。(遺物)第45区3～6。6は小型土器の底部である。(遺物出土状況)十三善提式が出土しているが、11号土坑と比べると数は少ない。(時期)縄文前期末。

13号土坑【第37区】〔位置〕E-5グリッド。(重複)なし。

〔形状〕不整な円形を呈している。(遺物)第45区17～19、第46区68～70。17～19は十三善提式であり、68は黒曜石原石で、重量は245gである。(遺物出土状況)土坑の中央にまとまっているが、出土レベルは上層から下層まで連続的に出土している。土坑の中央中層から68の黒曜石原石が出土している。(時期)縄文前期末。

14号土坑【第40区】〔位置〕B-4グリッド。(重複)15号土坑を切っている。(形状)長方形に近い形をしている。(遺物)第45区20の十三善提式が出土している。(遺物出土状況)15号土坑寄りの上層から多く出土している。(時期)縄文前期末。

15号土坑【第40区】〔位置〕B-4グリッド。(重複)14号土坑に切られている。(形状)不整な楕円形。(遺物)第45区21～25で、十三善提式である。(遺物出土状況)覆土の上層から数片出土している。(時期)縄文前期末。

16号土坑【第41区】〔位置〕E-5グリッド。(重複)なし。(形状)円形。(遺物)第45区26～38、第47区75～84。37は十三善提式で、頸部下端に横位隆線があり、そこから多くの垂下文が施される。隆線には半截竹管の内皮により連続押圧されている。地文は縄文である。38も十三善提式で、胴部は細く頸部が緩やかに括れ、口縁部が大きく内湾する器形である。口縁部・頸部・胴部に文様帯が分かれ、頸部は無文である。口縁部には横位隆線を多条に施し、一部に鋸歯状に粘土紐を付けている。隆線に刻みはない。口唇部には斜突を巡らしている。胴部には渦巻文が施され、地文は縄文である。

〔遺物出土状況〕底部付近に遺物が多く出土している。37・38はそれぞれ壘際に置かれていた。石器も底部付近から多く出土した。(時期)縄文前期末。(備考)土坑断面が一部フラスコ状を呈しているため、貯蔵穴と考えられる。

17号土坑【第40区】〔位置〕G-3グリッド。(重複)1号住居跡に切られている。(形状)円形。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)土坑中央に分布の中心がある。底部に傘大の礎があった。(時期)縄文前期末。

18号土坑【第40区】〔位置〕D-5グリッド。(重複)なし。(形状)楕円形。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)土坑中央の上層に礎が数点まとまっていた。(時期)出土土器は上層に限られ流れ込みの可能性もあり、不明である。

19号土坑【第42区】〔位置〕B-4・5グリッド。(重複)26号土坑と重なる。(形状)円形。(遺物)第46区60～67。60～65は十三善提式、66は井戸尻式、67は魁之内式である。(遺物出土状況)土坑の上層を中心に分布しているが、底部付近からの出土もある。(時期)縄文前期末。

20号土坑【第44区】〔位置〕B-4グリッド。(重複)23

円土坑に切られる。27号土坑と重なる。(形状)円形。(遺物)第48図85・86。85は打製石斧、86は石匙である。(遺物出土状況)覆土の上層及び下層に散在的に分布する。(時期)縄文前期末。

21号土坑〔第43図〕(位置)B-4グリッド。(重複)22号土坑と重なる。(形状)不整な楕円形を呈する。一部フラスコ状である。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)上層から下層まで散在する。(時期)縄文前期末。(備考)貯蔵穴であろう。

22号土坑〔第43図〕(位置)B-4グリッド。(重複)21号土坑と重なる。(形状)不整な円形を呈する。底部に段を持ち、断面は一部フラスコ状を呈する。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)上層から下層まで散在する。(時期)縄文前期末。(備考)貯蔵穴であろう。

23号土坑〔第44図〕(位置)B-4グリッド。(重複)20・24号土坑と重なる。(形状)円形であろう。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)出土数はわずかである。(時期)流れ込みの可能性があり、不明である。

24号土坑〔第44図〕(位置)B-4・5グリッド。(重複)23号土坑と重なる。(形状)不整な円形である。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)遺物はわずかに出土する程度である。(時期)流れ込みの可能性もあり、不明である。

26号土坑〔第42図〕(位置)B-5グリッド。(重複)19号土坑と重なる。(形状)円形。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)標が1点出土しただけである。(時期)不明。

27号土坑〔第44図〕(位置)B-4グリッド。(重複)20号土坑と重なる。(形状)円形であろう。(遺物)図示なし。(遺物出土状況)覆土の上層からわずかに出土した。(時期)流れ込みの可能性があり、不明である。

28号土坑〔第42図〕(位置)D-5グリッド。(重複)なし。(形状)不整な楕円形である。(遺物)第46図39-41。39は十三芒提式、40は曾利Ⅱ式、41は井戸尻式である。(遺物出土状況)覆土の上層を中心に出土している。(時期)流れ込みの可能性があり、不明である。

第45図2は4土、第46図42は31土、43は33土、44は78土、45は66土、46は74土、47は81土、48は88土、49は120土、50は116土、51は139土、52・53は140土、54は151土、55は165土、56は159土、57は170土、58は174土、59は167土からそれぞれ出土している。

第4節 その他

1号溝〔第49図〕(位置)B-4・5、C-5・6、D-5・6、E-5・6、F-5・6グリッドに位置す

る。溝は調査区の南側と北側に分かれて確認されたが、調査区外でつながっていると考えたので、同一の遺構にした。(重複)5・6号住居跡、20・22-24・27号土坑を切っている。(形状)南北方向に直線的に延びており、調査区外で北西方向に曲がっている。(規模)南部分は長さ29m、中央部幅1.9m、深さ中央部30cmである。北部分は長さで5.2m、中央部幅1.3m、中央部深さ37cmである。(遺物)第49図。1-3は十三芒提式、4は東海系である。10は滑石製の垂飾である。11は土偶の頭部である。顔の部分は剥がれ落ちている。頭頂部及び側頭部に穴が確認できた。

焼土跡 焼土跡が4ヶ所確認できた。現代に近いものと判断し詳細な図は提示しなかった。どれも炭化材が部分的に堆積し、その上に焼土が載っている状態であった。各焼土跡の規模は以下のとおりである。(数字は長軸×短軸を表す)

- 1号焼土跡3.2m×1.4m、2号焼土跡2.2m×1.5m
- 3号焼土跡1.7m×1.0m、4号焼土跡2.9m×1.4m

第5節 遺構外出土遺物

遺構外からも多くの遺物が出土している。

第50図1・2は東海系、3は諸磯b式、4は諸磯c式、5-33は前期末、34は五領ヶ台式、35は新渡式、36-43は井戸尻式、44-58は曾利Ⅰ式、59は曾利Ⅱ式、60・64は曾利Ⅲ式、61-63は曾利Ⅳ式、65-69は糸痕文二器、70・71は縄文地文の土器である。

なお、図示はしなかったが、古銭が5枚出土しており、寛永通寶が3枚、判銭不明が2枚である。キセルや釘が出土している。

第4章 発掘調査の成果

第1節 縄文時代前期末について

今回の調査において、縄文時代前期末土器群が比較的多く出土したことが、成果として挙げられる。

本遺跡出土の前期末土器群は、泉文編年(今福1999)の第3段階にあたり、一部4段階のものが出ている。三角印刻文は見られず、結節浮線文・浮線文をもつものが圧倒的に多く、地文は縄文か無文である。集合浮線文をもつもの(第27図1、第30図19、第45図9・14・15、第46図43、第50図10・11)は4段階に位置づけられよう。

前期末の土器分布状況を見ると、調査区北～東側の11・12・13・16号土坑に多く、5・6号住居跡の周辺も多い。5号住居跡は曾利Ⅰ式古段階の時期であるが、前

期末二器が数多く出土するという事は、その時期の遺構がそこにあった可能性がある。先述したが、5号住居内には、主柱穴以外のドットがもう1軒の住居跡になる可能性があり、それが前期末のものである可能性が高い。

第2節 井戸式終末～曾利I式の変遷について

今回の調査のもう一つの成果は、1・2・5号住居跡を中心に井戸式終末～曾利I式土器が数多く出土したことである。ここでは該期の土器の変遷を追って行きたい。

・井戸式終末段階

井戸式最後の段階で、曾利I式に近い土器が伴う。7号住から7住1の糟田区画文をもつ井戸式と河2の曾利I式に近いものが共存している。7住2と2住4の地文は棒状の工具による条線で、次の段階と比べて浅く幅広く間隔がやや広い。井戸式の平行沈線に近い。1住11は底部から口縁部にかけて直線的に広がる器形と思われ、口縁部に文様をもつものである。また、頸部に鐮状の張り出しを持つもの(2住3)や突起状裝飾(5住3)がある。

・曾利I式古段階

口縁部に文様を残すもの(1住12、2住10、5住4)、ミミズク状の把手や突起をもつもの(2住1・5・6・8)、頸部が膨らむもの(2住1)、懸垂文のみのもの(1住1、2住1・6・7)などがある。胴部モチーフにはU字状のもの(2住2・5・8)もある。隆線上はヘラによる刻みと半數竹管による連続押圧とがある。5住1・5住2は梨久保B式で5住4と共存している。5住4の地文は懸垂文であり、井戸式の要素を引き継いでいる。

1住1の器形は、曾利I式によくみられる口縁部が内湾し胴部が小胴である器形とは違い、口縁部は直線的に広がって胴部が膨らんでいる。2住6も同様の器形であろう。北巨摩郡白州町小用遺跡(教家石民部館跡)第1・5トレンチからも同様な器形をもつ土器が数個体出土しており(折井1990)、全て曾利I式古段階に位置づけられる。この器形は梨久保B式に少しみられる(三上1996)。本遺跡は八ヶ岳南麓でも西側に位置し、筑前河や八ヶ岳西南麓に近接するため梨久保B式土器と関わりが強く、その状況下で作られたのではないだろうか。実際に梨久保B式が他の遺構から出土している(5住1・2)。

・曾利I式新段階

頸部文様帯が幅広になり、胴部モチーフはU字状文になる。前段階で頸部文様帯の中央または下段に付けられていた渦巻文は、頸部直下(河11・38)に位置し、そこからU字状文が伸びていく。頸部文様帯は格子文(2住

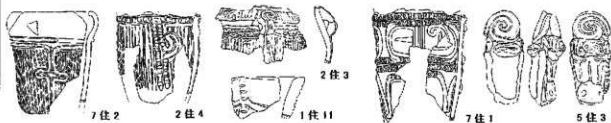
11)、横位波状粘土組(河38)などがある。2住11のU字状文の脇には波状粘土組が加飾される。

従来の変遷(米田1986・今福1999・椋原1999)を参考に各段階を設定してみた。曾利I式古段階の上器が多く、本遺跡の特徴と見えよう。八ヶ岳山麓では釈迦堂遺跡と比べ、系部文様帯に渦巻文や把手が入るものが多いという指摘(椋原1993・97)が追認できた。また、八ヶ岳地域に少ないといわれる波状粘土組による加飾が確認できた。

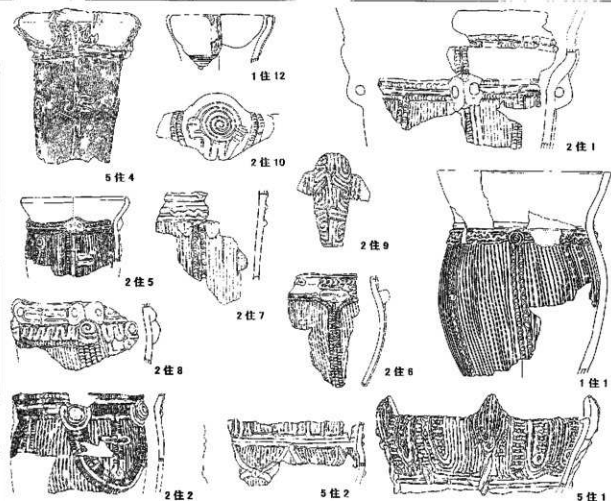
引用・参考文献

- 大山柏・竹下次作・井山裕彦 1941『山梨県日野村長坂上
集発掘調査報告』『史前学雑誌』13-3 史前学会
長坂町誌編纂委員会 1990『長坂町誌。上・下巻 長坂町
山本茂樹・野代幸和 1994『甲斐原遺跡(第5次)』山梨
県教育委員会
野代幸和 1997『酒呑場遺跡(第1・2次)』(遺構編) 山梨
県教育委員会
保坂康夫 1997『酒呑場遺跡(第3次)』(遺構編-前編) 山
梨県教育委員会
保坂康夫 1998『酒呑場遺跡(第3次)』(遺構編-後編) 山
梨県教育委員会
板倉敏之 1994『地蔵村遺跡』新宿区民健康康村遺跡調査団
1994『第7章 考察 第3節 縄文時代晩期終末
の土器群について』『地蔵村遺跡』新宿区民健康康
村遺跡調査団
小宮山隆 1999『14. 越中久保遺跡』『八ヶ岳考古』平成11年
度年報 北巨摩市町村文化財担当委員会
小宮山隆 2002『東嶽遺跡』長坂町教育委員会
村松佳幸 2002『西麻南遺跡』八ヶ岳考古、平成13年度年報
北巨摩市町村文化財担当委員会
藤原功一 1993『曾利I式土器の再検討-山梨県大泉村縄
文遺跡の資料をもとに』『縄文時代』4 縄文時代
文化研究会
藤原功一 1997『山遺跡第3次調査報告書』高根町教育委
員会・社団法人発掘調査団
藤原功一 1999『曾利I式土器の編年集』山梨考古学論集IV
山梨県考古学協会
米田明訓 1978『曾利I式土器編年の基礎的把握』『長野県考古
学会誌』30 長野県考古学会
米田明訓 1986『柳尋遺跡』山梨県教育委員会
今福利忠 1999『第2次山梨県の考古学編年 2 縄文時代の
編年(前期終末期)』『同章 9 中期中葉(藤坂
式土器)』『同章 9 中期後半(曾利I式土器)』『山
梨県史』資料編2 原始・古代2 考古(遺構・
遺物) 山梨日新聞社
末木 健 1981『曾利I式土器』『縄文文化の研究』4 藤山隆
出版
三上徹也 1996『5. 花上寺遺跡における縄文時代中期後半
の土器様相-特に梨久保B式土器の組成に関する
考察を中心として』『花上寺遺跡』岡谷市教育委
員会
折井 敏 1990『教家石民部館跡 第二次発掘調査報告書』
白州町教育委員会

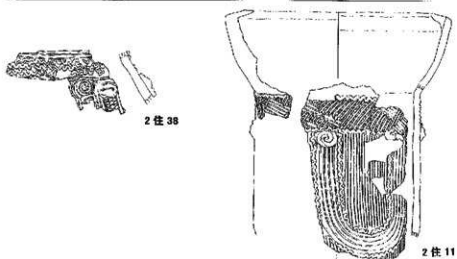
井戸尻式終末段階



曾利Ⅰ式古段階

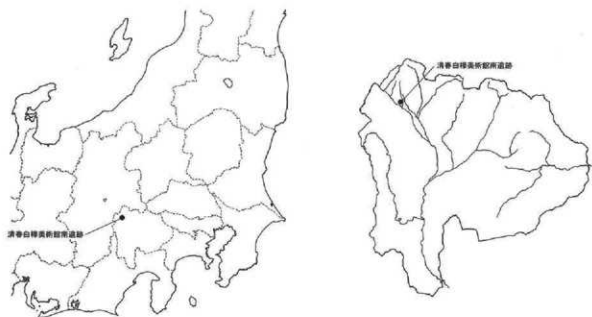


曾利Ⅰ式新段階

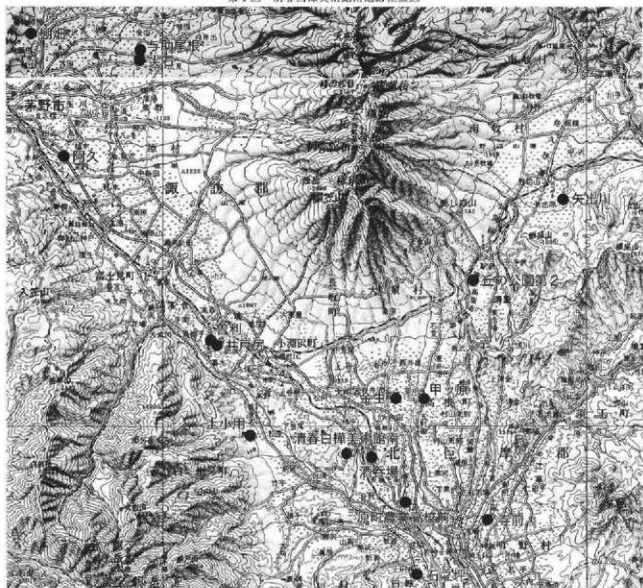


縮尺は1/6
(2住11のみ1/8)

挿圖 井戸尻式終末～曾利Ⅰ式の変遷



第1圖 清春白樺美術館南遷跡位置圖



第2圖 八ヶ岳南麓主要遺跡分布圖



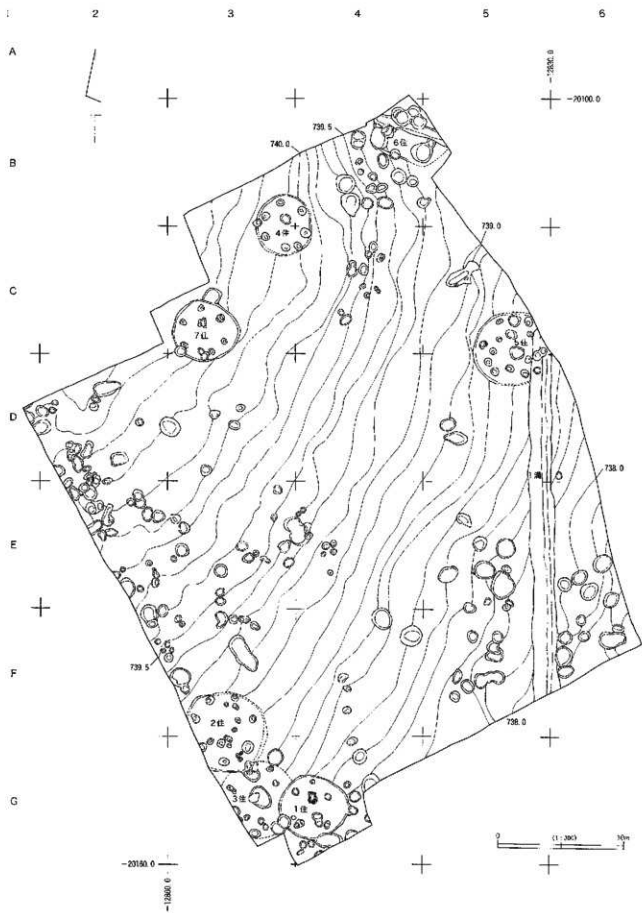
第3図 清春白樺美術館南遺跡周辺の遺跡分布図

第1表 遺跡地名表

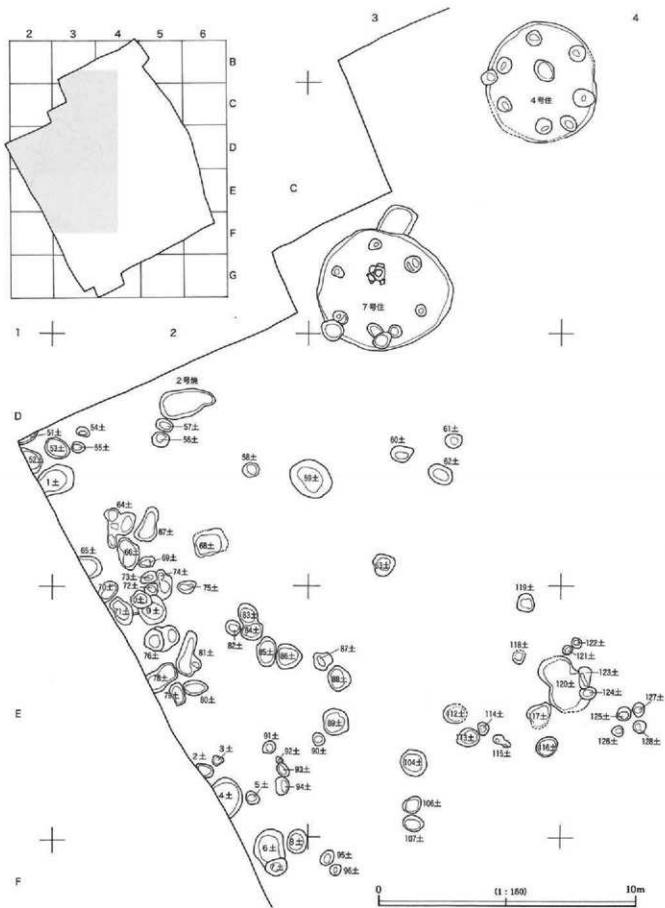
66	成門遺跡	縄	弥	平	中	91	居久保遺跡	縄	平	151	池ノ平A遺跡	縄	奈	平
67	成岡新田遺跡	縄	弥	平	中	★92	清春白樺美術館南遺跡	縄		152	向井丹下屋敷址	縄	中	
73	久保遺跡	縄	縄			93	彌久保遺跡	縄	平	153	池ノ平B遺跡	縄	中	
74	房原敷遺跡	縄	縄	江	戸	94	後平遺跡	縄	平	154	上日野遺跡	縄	中	江
75	池ノ平遺跡	縄	縄			95	狐平北遺跡	縄	平	155	田中氏屋敷址	縄	平	
76	東原3遺跡	縄	平			96	狐平北遺跡	縄	平	156	上日野A遺跡	縄	平	
77	東原2遺跡	縄	平			97	大平遺跡	縄	平	158	上日野C遺跡	縄	平	
78	東原4遺跡	縄	平			98	下鳥久保遺跡	縄		168	上町南遺跡	縄	縄	
79	東原1遺跡	縄	平			99	鳥久保遺跡	縄	江	171	長坂上敷遺跡	縄	縄	平
80	和手山東遺跡	中				100	高松遺跡	縄		172	西久保遺跡	縄	縄	
81	小尾平遺跡	中	縄			101	上可遺跡	縄	奈	173	新宿区健康村遺跡	縄	中	江
82	間の原遺跡	縄	縄	中		102	酒呑場遺跡	縄	古	184	北村北遺跡	縄	平	
83	西原東遺跡	縄	平			107	西村遺跡	縄	中	185	酒呑場東遺跡	縄	平	
84	西原南遺跡	縄	平			108	中反遺跡	縄	平	187	北村東遺跡	縄	平	
85	西原南遺跡	縄	平			109	柿平・扇塚			190	池之平北遺跡	縄	平	
86	和手遺跡	縄	平			136	反田遺跡	縄	中	195	紺屋遺跡	縄	平	中
87	栗巻遺跡	縄	平			138	北村遺跡	縄	平	197	竹取遺跡	縄	中	江
88	城山上北遺跡	縄	平	中	江	139	新開遺跡	縄	平	198	天白堂址	縄	中	戦
89	城山上北遺跡	縄	中			142	楯松氏屋敷址	中		200	下日野遺跡	縄	中	
90	中丸岩址	戦	国			150	池ノ平昭和堤北遺跡	縄		206	長坂上敷・扇塚遺跡	古	平	



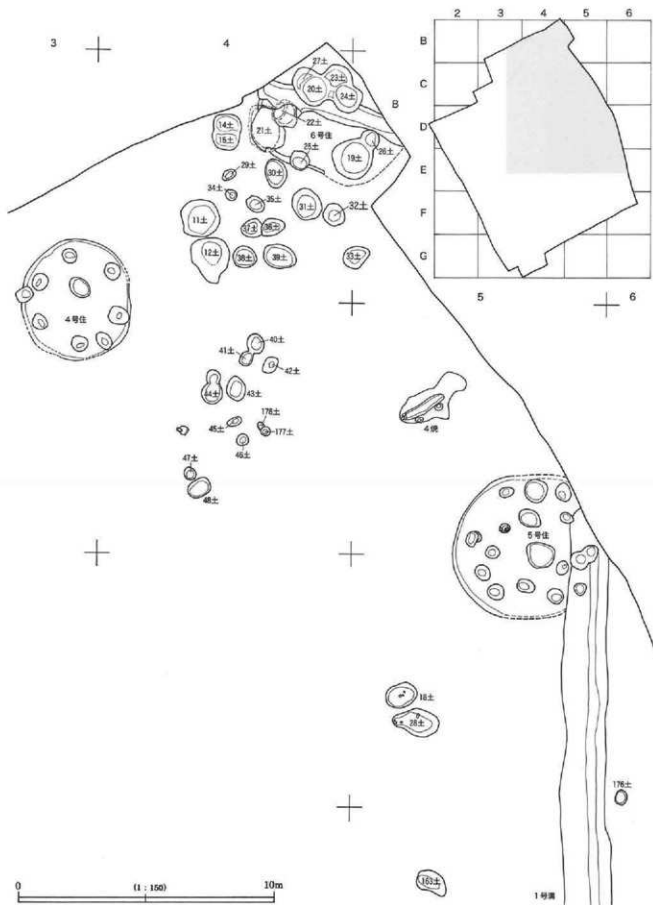
第4図 清春白樺美術館南遺跡調査区位置図



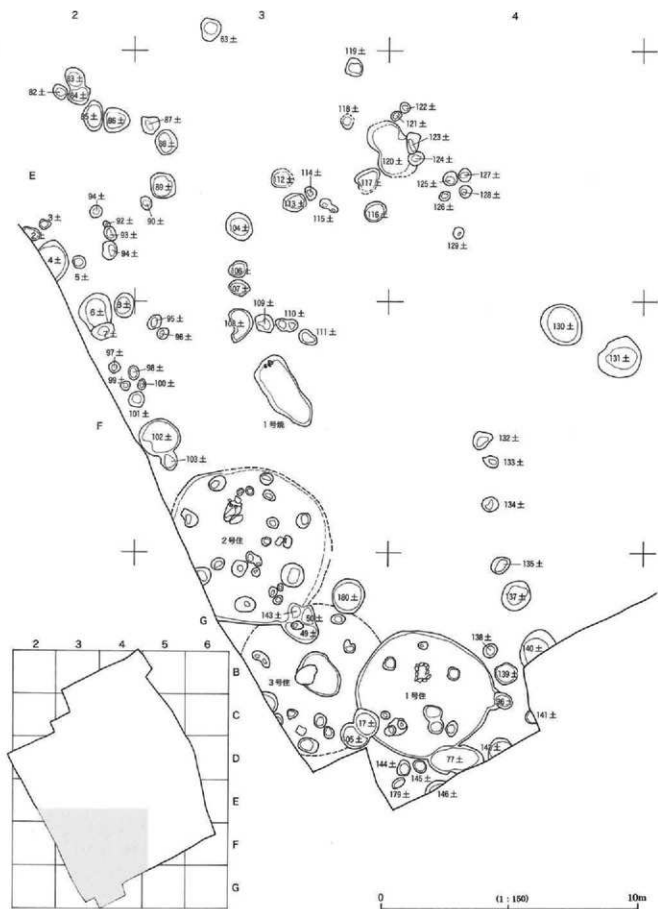
第5图 调查区全图



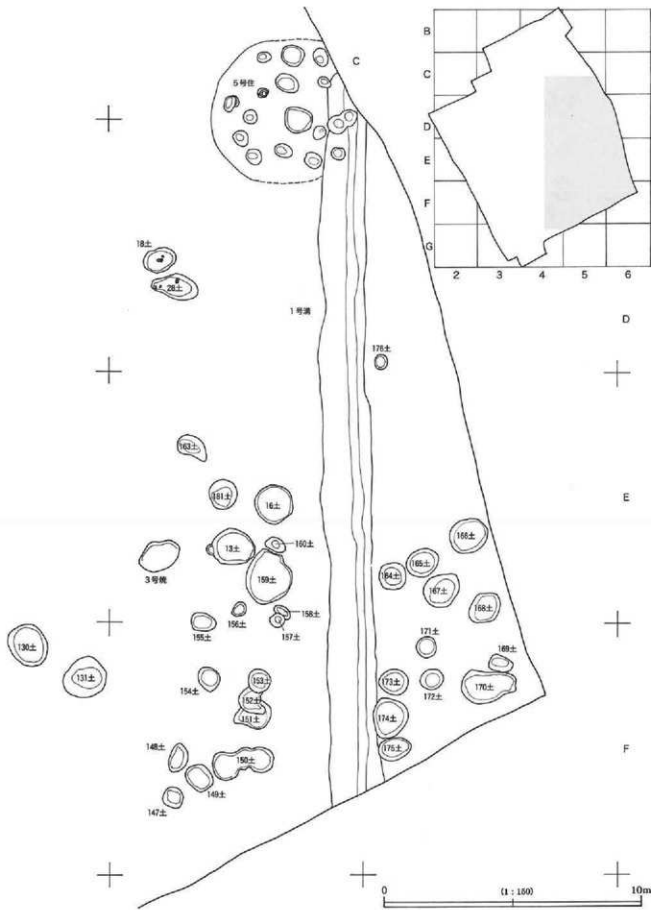
第6图 遺構分布图①



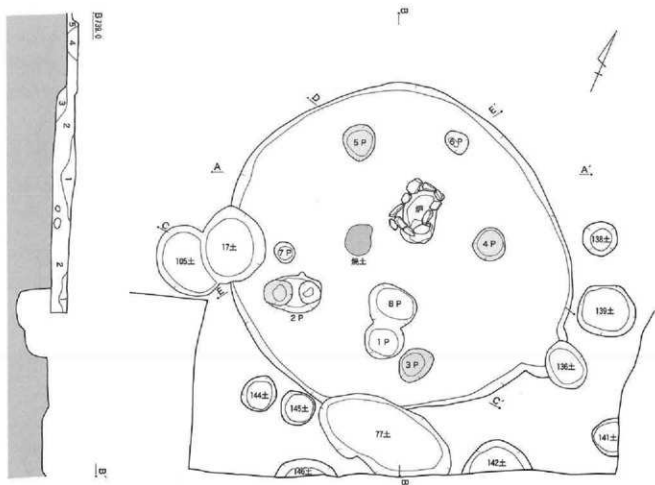
第7図 遺構分布図②



第8図 遺構分布図③



第9圖 遺構分布圖④



1号住居

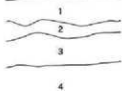
東西セクション

- 1 暗褐色土 暗褐色土少量、褐色土多量
- 2 暗褐色土 1層より明るい、褐色土多量
- 3 暗褐色土 1層より明るい、2層より暗い、ボンボン
- 4 赤褐色土 暗褐色土少量
- 5 暗褐色土 褐色土多量

南北セクション

- 1 暗褐色土 暗褐色土多量 (東西の1層)
- 2 暗褐色土 1層より明るい、褐色土多量 (東西の2層)
- 3 暗褐色土 2層より暗い、褐色土少量
- 4 暗褐色土 褐色土少量

738.5



A739.0



C738.0



D739.0



E739.0

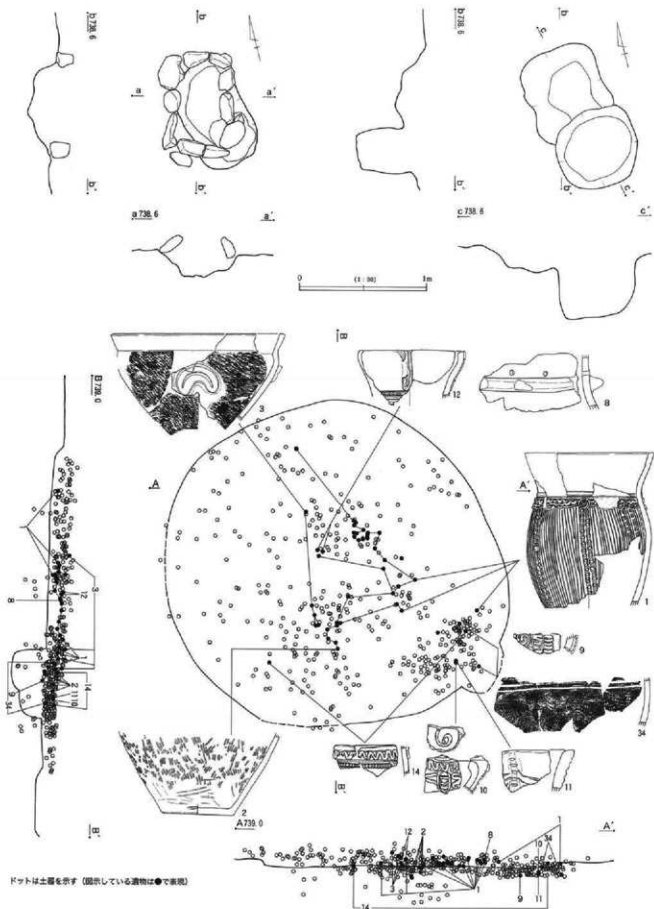


基本層序

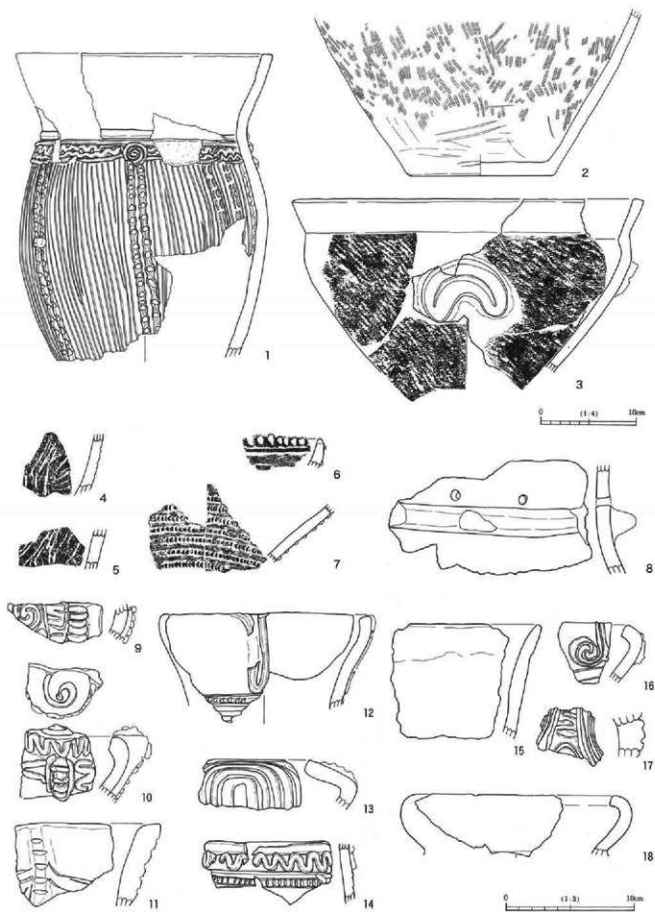
- 1 暗褐色土 褐色土少量、炭化物少量
- 2 褐色土 3層より暗い、暗褐色土やや多量
- 3 褐色土 2層より明るい、暗褐色土少量、2~4層の無砂層
- 4 黄褐色土 焼土、ローム層、下層にいくほどしまりが強い

0 (1:40) 2m

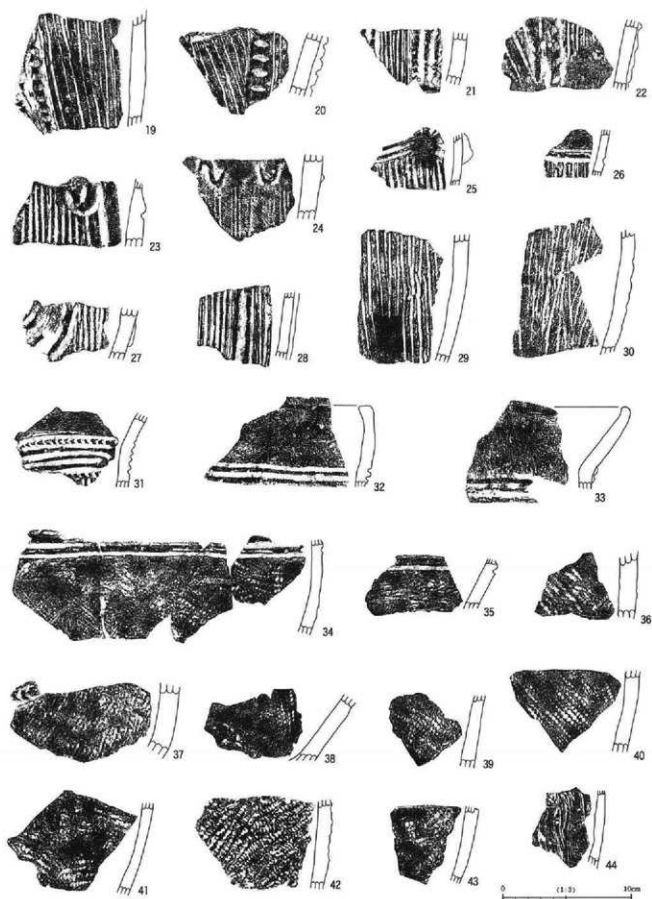
第10図 基本層序、1号住居跡



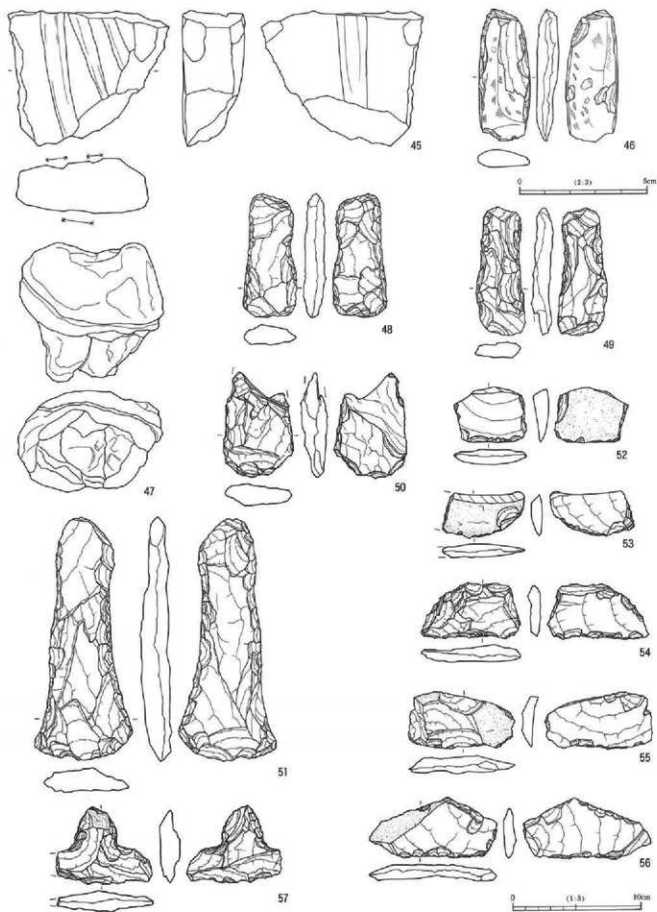
第11図 1号住居跡石囲炉、遺物出土状況



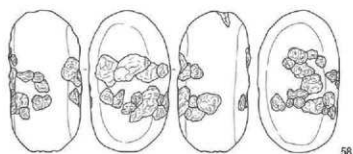
第12图 1号住居跡出土遺物①



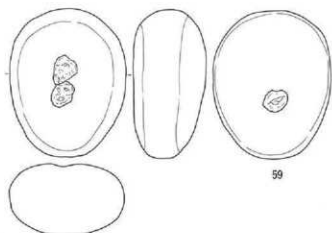
第13图 1号住居跡出土物②



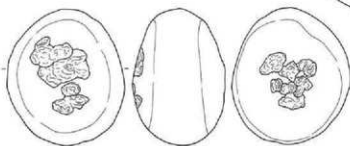
第14图 1号住居跡出土遺物③



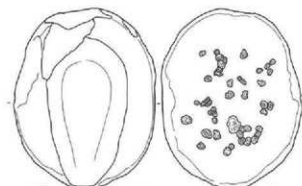
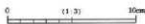
58



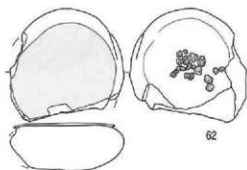
59



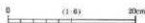
60



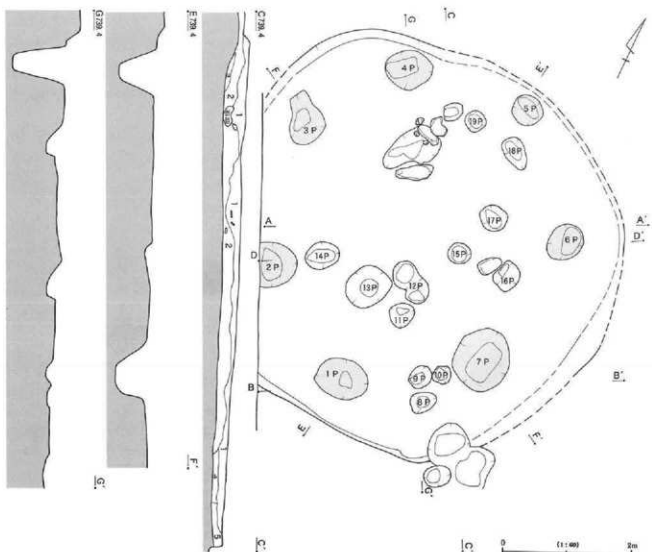
61



62



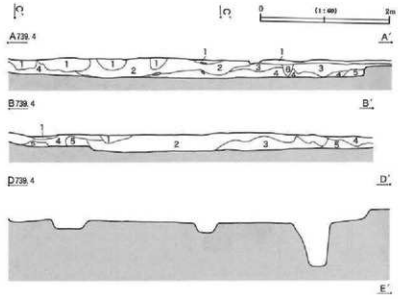
第15图 1号住居跡出土遺物④



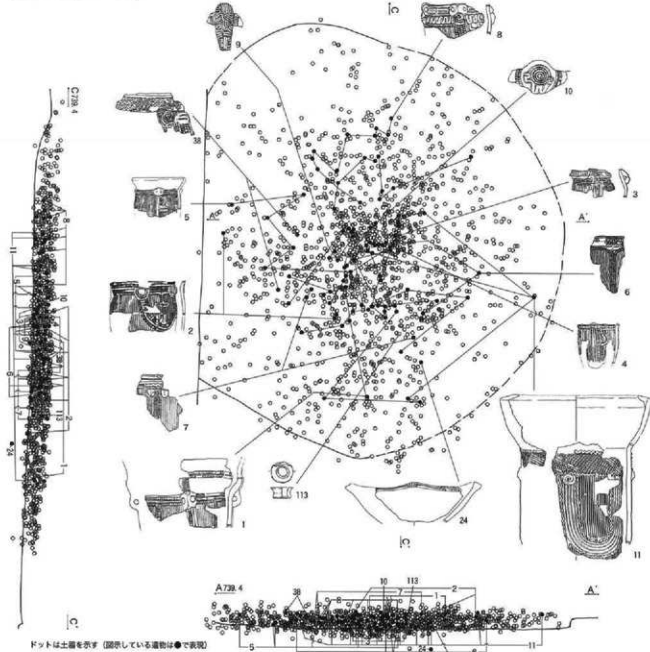
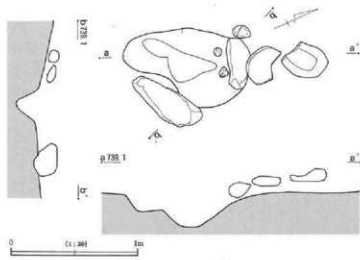
- 2号住居
東西セクション①
- 1 暗褐色土 埋瓦、褐色土含む
 - 2 暗褐色土 褐色土少量、1mローム粒若干
 - 3 暗褐色土 褐色土含む、1mローム粒若干
 - 4 暗褐色土 暗褐色土含む
 - 5 灰褐色土 暗褐色土少量
 - 6 灰褐色土 灰の混入

- 東西セクション②
- 1 暗褐色土 埋瓦、褐色土含む
 - 2 暗褐色土 4層より明るい、褐色土少量、1mローム粒若干
 - 3 灰褐色土 暗褐色土含む
 - 4 暗褐色土 1層より明るい、褐色土少量
 - 5 褐色土 暗褐色土少量

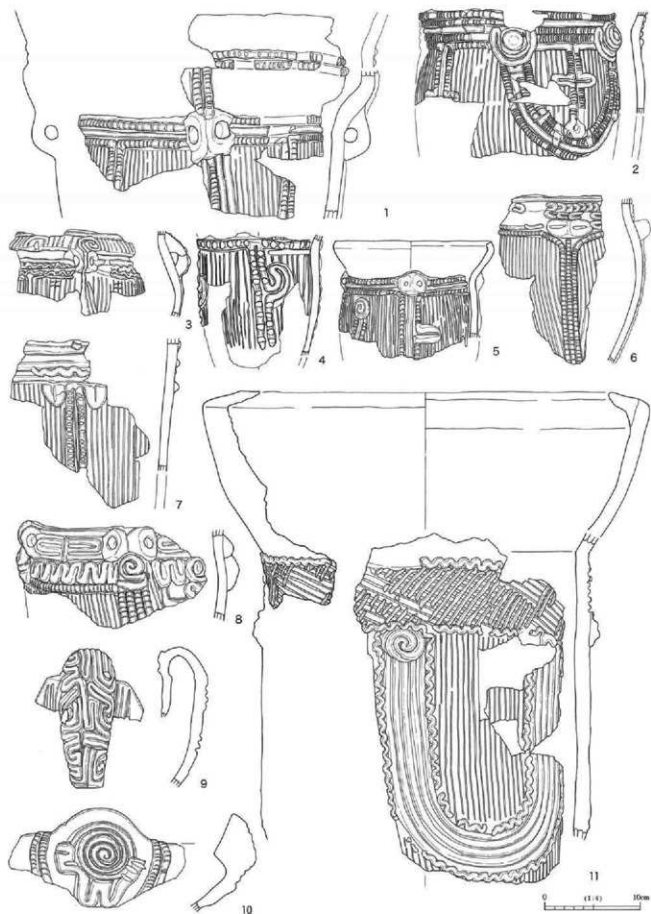
- 南北セクション
- 1 暗褐色土 埋瓦、褐色土含む
 - 2 暗褐色土 褐色土少量、1mローム粒若干
 - 3 褐色土 暗褐色土含む、黄褐色ブロック多量
 - 4 暗褐色土 褐色土少量、褐色土粒若干



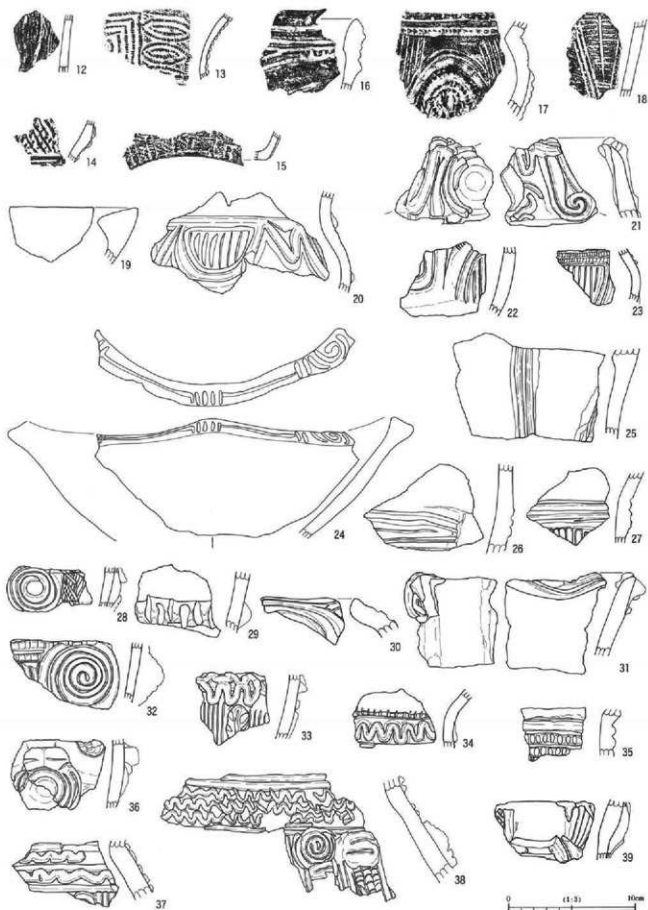
第16図 2号住居跡



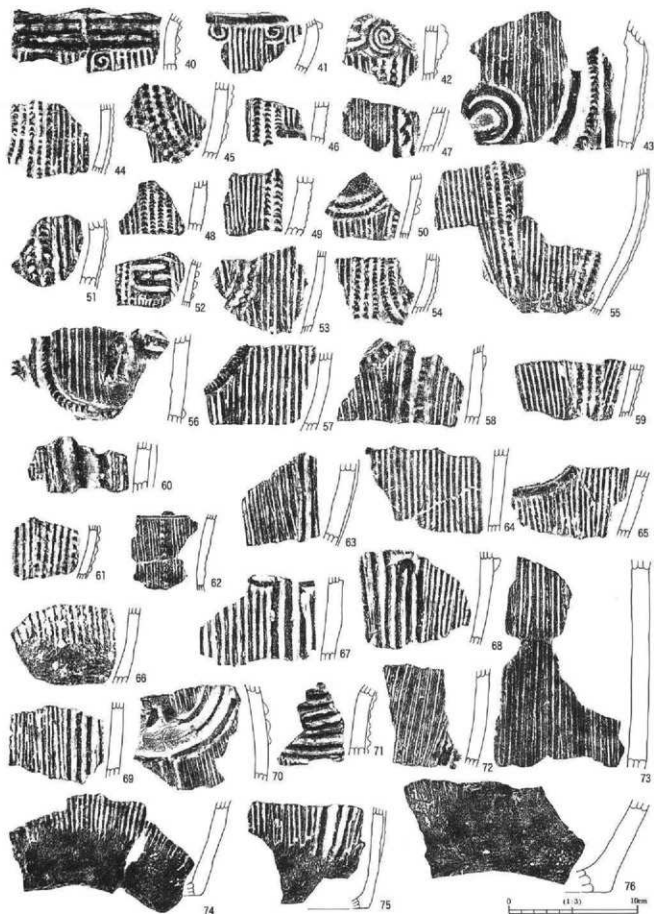
第17図 2号住居跡、遺物出土状況



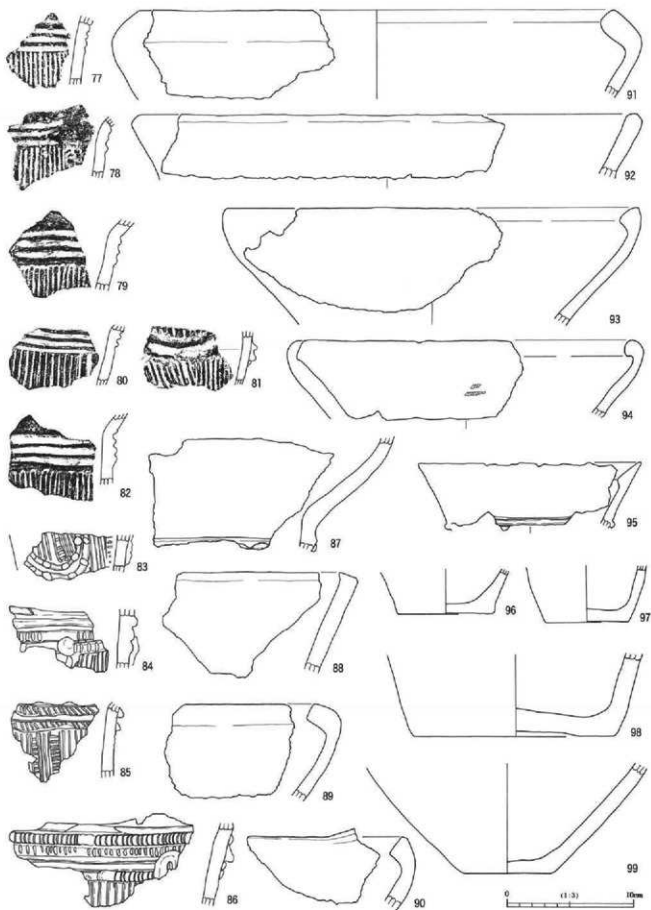
第18图 2号住居跡出土遺物①



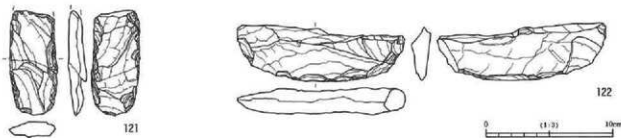
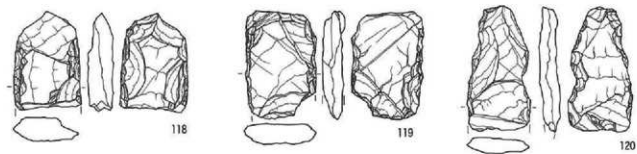
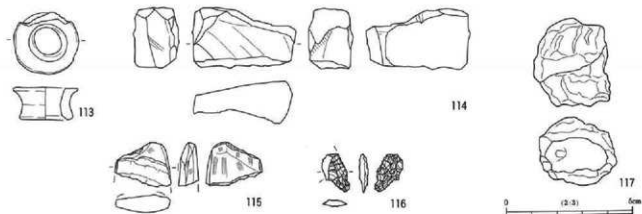
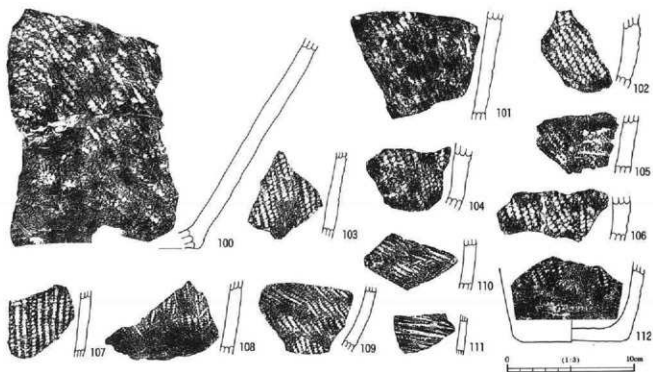
第19图 2号住居跡出土遺物②



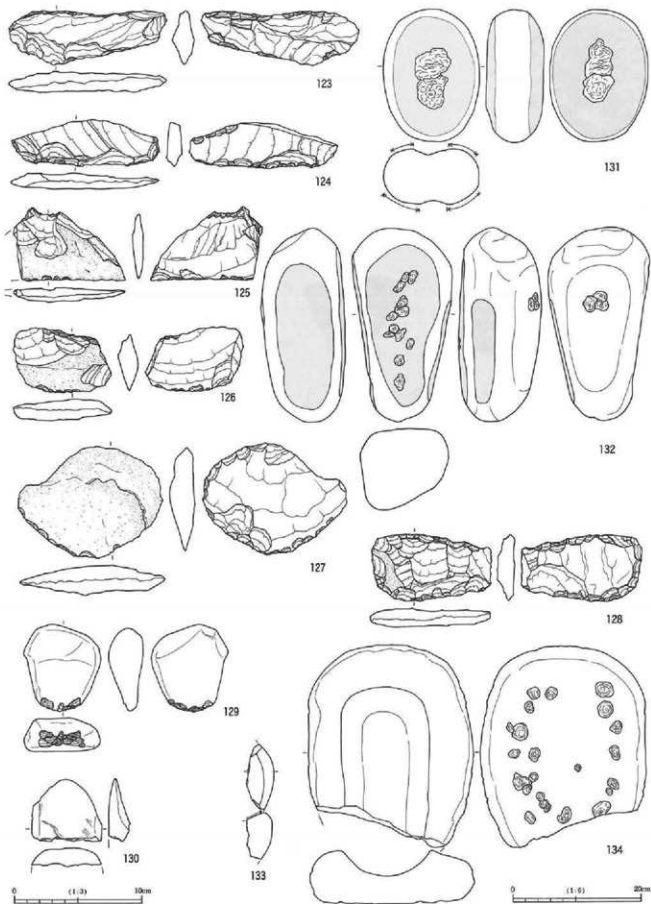
第20图 2号住居跡出土遺物③



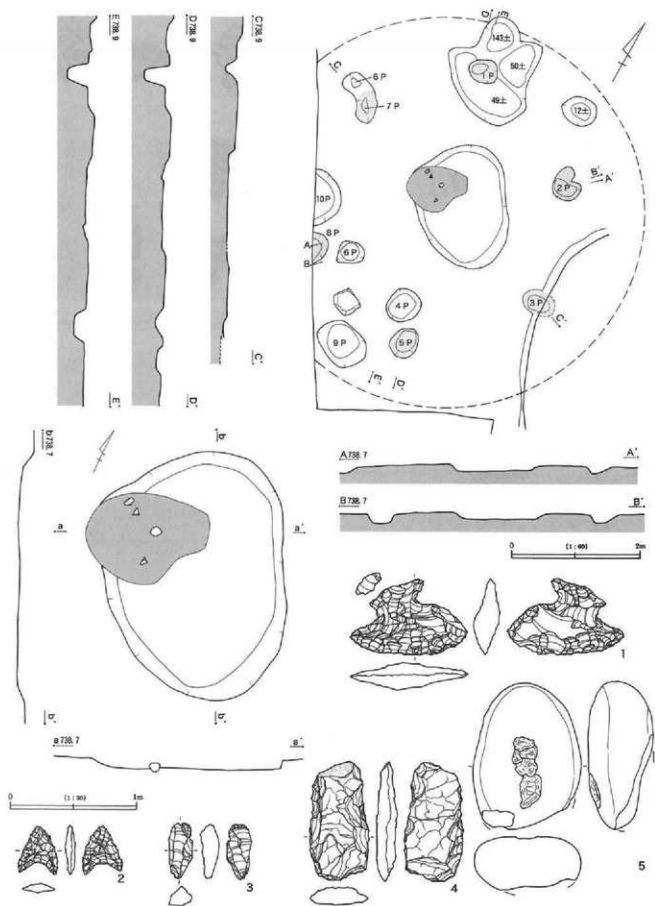
第21图 2号住居跡出土遺物④



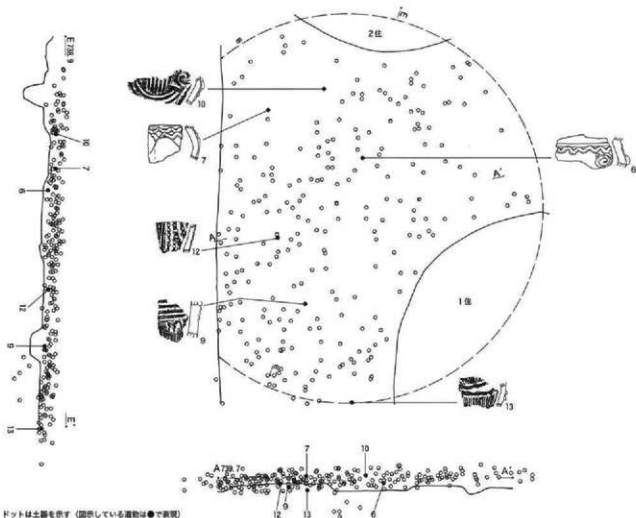
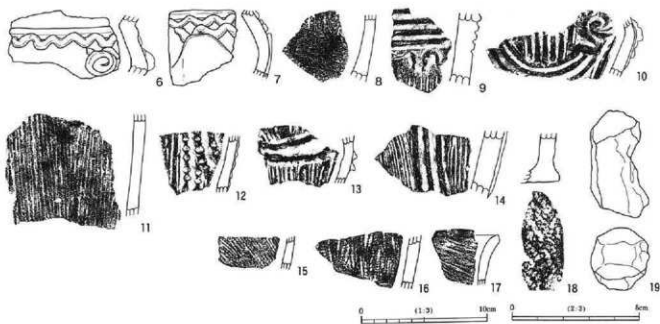
第22图 2号住居跡出土遺物⑤



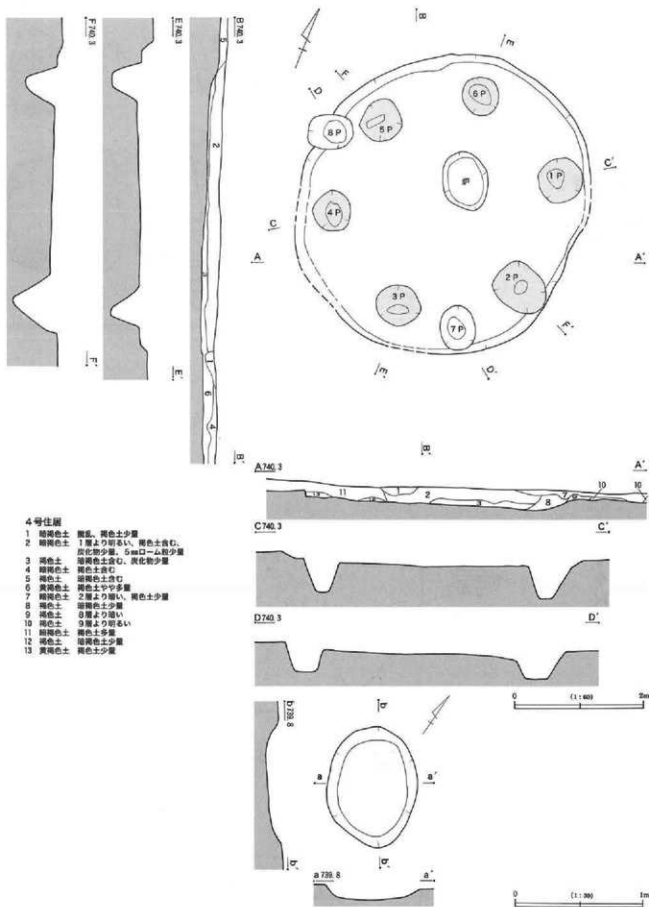
第23图 2号住居跡出土遺物⑥



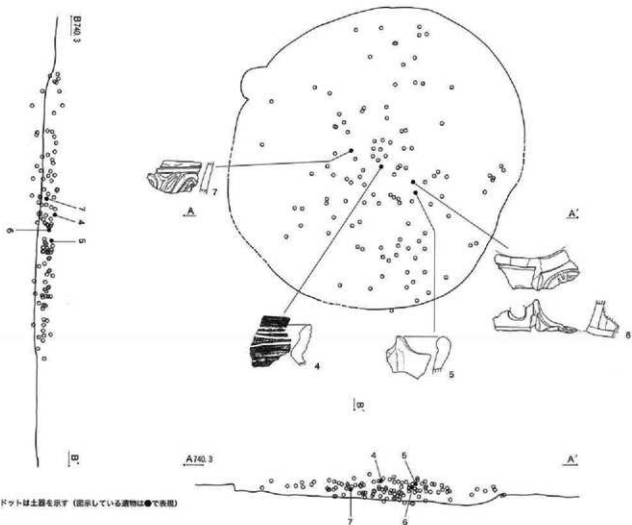
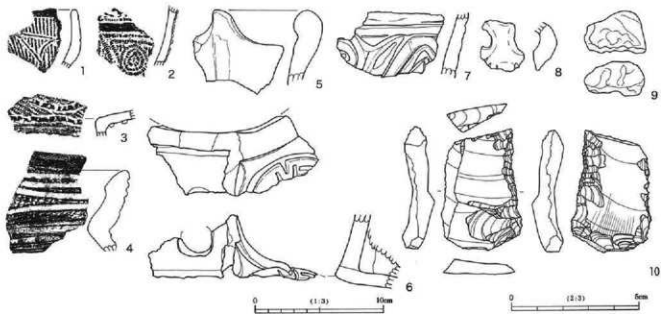
第24图 3号住居跡、枿、出土遺物①



第25図 3号住居跡出土遺物②、遺物出土状況

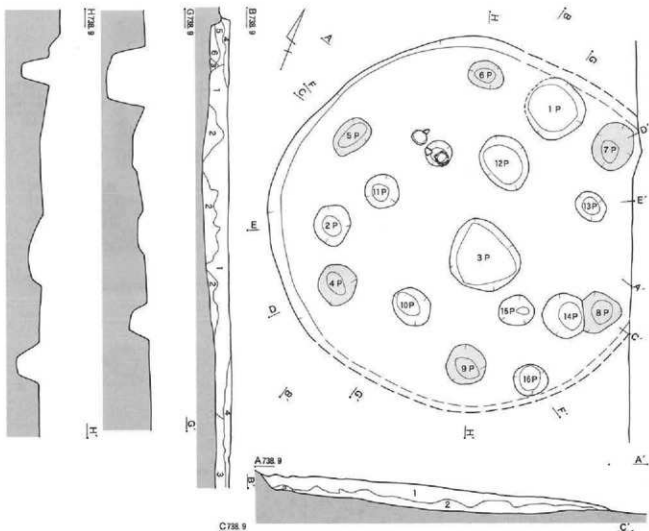


第26図 4号住居跡、炉



ドットは土器を示す (図示している遺物は●で表現)

第27図 4号住居跡出土遺物、遺物出土状況



5号住居

- 1 暗褐色土 褐色土含石、炭化物少量
- 2 褐色土 黄褐色土やや多量
- 3 暗褐色土 褐色土含石
- 4 暗褐色土 黄乱、褐色土含石
- 5 暗褐色土 4-5層より明るい、褐色土多量
- 6 暗褐色土 5層より暗い、黄褐色土少量

C736 9



D736 9



E736 9

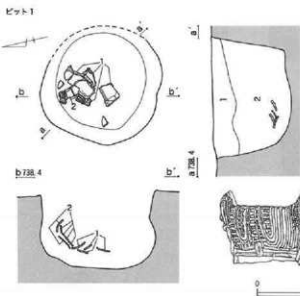
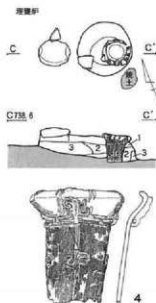


F736 9



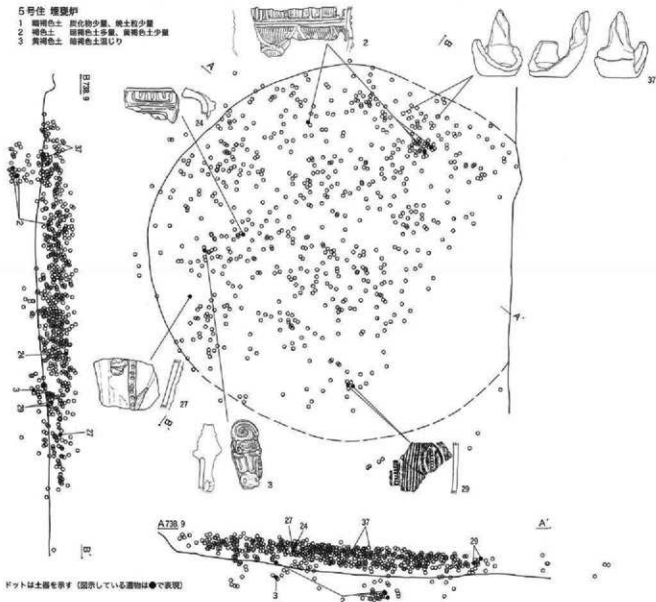
0 10 20m

第28図 5号住居跡

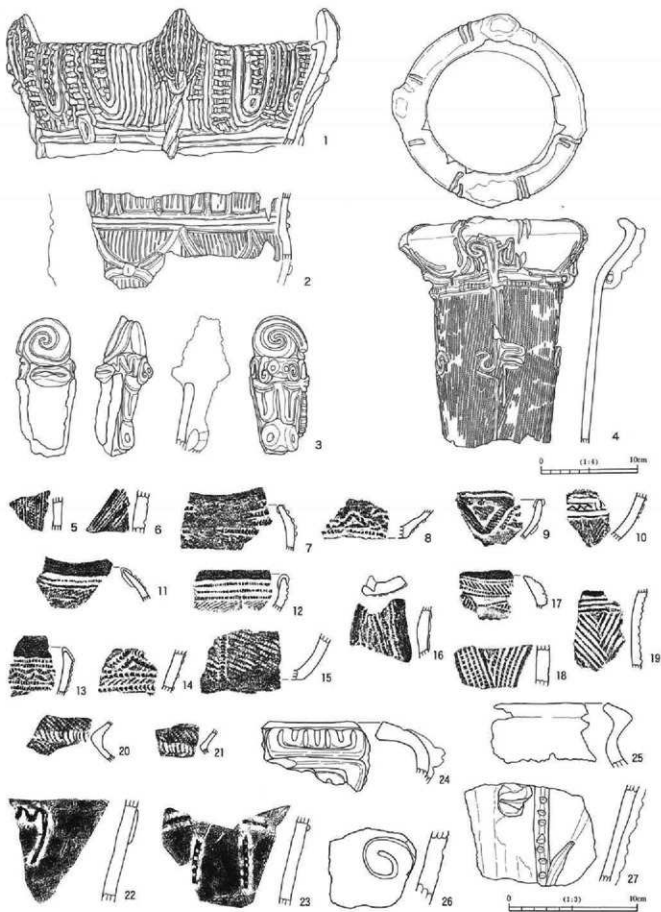


5号住居内ピット1
 1 黄褐色土 褐色土含む、灰化物
 やや多量。5cm口〜1m径少量
 2 黄褐色土 1層より薄い、黄褐色
 土多量。灰化物やや多量。1
 〜3m口〜1m径含む

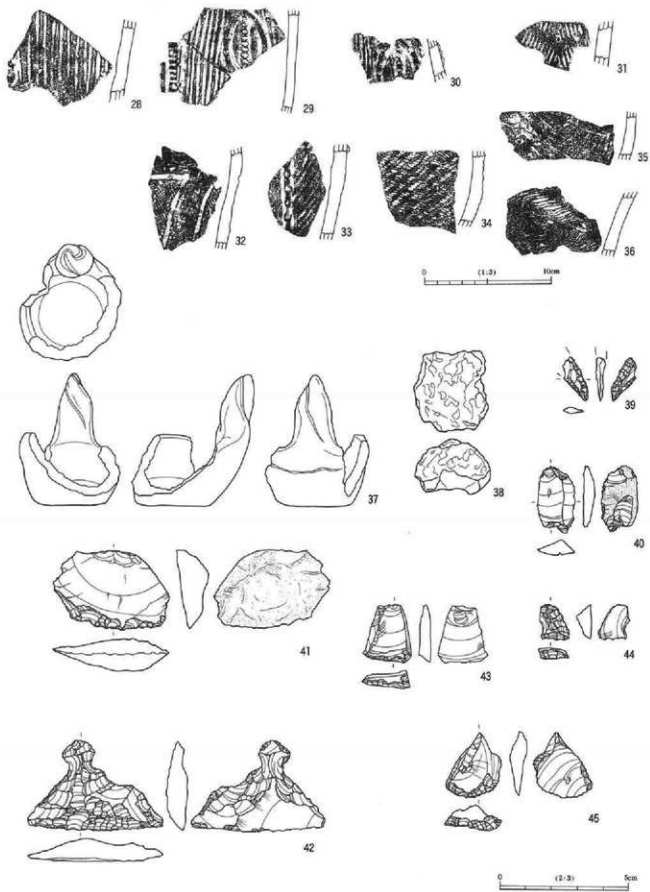
5号住居埋燵炉
 1 黄褐色土 灰化物少量、焼土粒少量
 2 褐色土 黄褐色土多量、黄褐色土少量
 3 黄褐色土 黄褐色土混じり



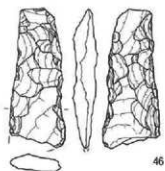
第29図 5号住居埋燵炉、ピット1、遺物出土状況



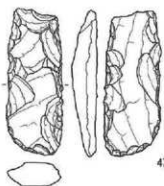
第30图 5号住居跡出土遺物①



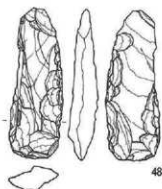
第31图 5号住居跡出土遺物②



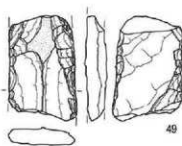
46



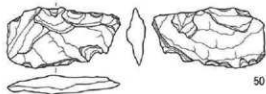
47



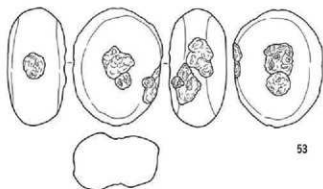
48



49



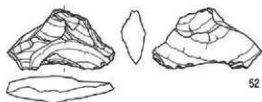
50



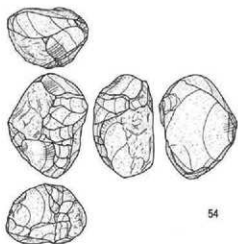
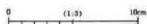
53



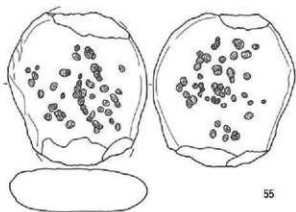
51



52



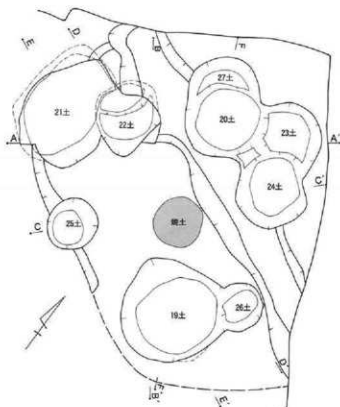
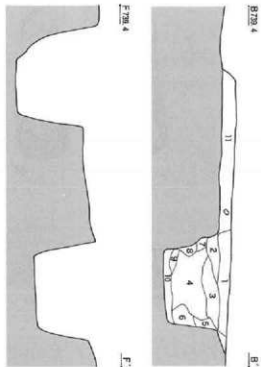
54



55



第32图 5号住居跡出土遺物③



6号住居

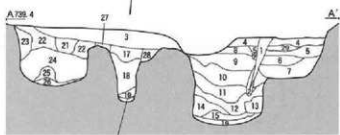
東西セクション

- 1 埴輪色土 竈
- 2 埴輪色土 炭化物少量、粘土質、硯
- 3 埴輪色土 炭化物少量、1m口-ム粒やや多量、1~3m口-ム粒少量
- 4 埴輪色土 炭化物少量、5m口-ム粒少量
- 5 褐色土 炭化物少量、1m口-ム粒少量
- 6 褐色土 5層より強い、炭化物少量、5~10m口-ム粒少量
- 7 褐色土 5層より強い、6層より明るい、炭化物少量、1~2m口-ム粒やや多量
- 8 褐色土 5層より強い、埴輪色土少量、炭化物少量
- 9 埴輪色土 炭化物やや多量、1~5m口-ム粒多量
- 10 埴輪色土 9層より強い、炭化物やや多量、1~10m口-ム粒極めて多量
- 11 埴輪色土 10層より明るい、褐色土多量、炭化物少量、1m口-ム粒多量
- 12 埴輪色土 11層より強い、褐色土少量、炭化物少量、5~10m口-ム粒多量
- 13 褐色土 埴輪色土少量、1~3m口-ム粒少量
- 14 褐色土 埴輪色土少量、1~3m口-ム粒少量
- 15 埴輪色土 12層より強い、褐色土少量、1m口-ム粒やや多量
- 16 埴輪色土 13層より明るい、埴輪色土多量、しまりあり
- 17 埴輪色土 3層より強い、炭化物少量、1m口-ム粒少量、1m口-ム粒多量
- 18 埴輪色土 17層より強い、褐色土少量、1~3m口-ム粒やや多量
- 19 埴輪色土 18層より強い、1~5m口-ム粒多量
- 20 埴輪色土 19層より明るい、黄褐色土多量、しまりあり
- 21 埴輪色土 3層より強い、炭化物少量、1~5m口-ム粒やや多量
- 22 埴輪色土 3・21層より明るい、褐色土少量、炭化物やや多量、1~5m口-ム粒多量
- 23 褐色土 黄褐色土多量、炭化物少量、1m口-ム粒少量
- 24 埴輪色土 21・22層より強い、炭化物やや多量、1~5m・1~3m口-ム粒極めて多量
- 25 褐色土 黄褐色土多量、炭化物少量、1m口-ム粒少量
- 26 埴輪色土 24層より明るい、炭化物少量、しまりあり、1~3m口-ム粒多量
- 27 褐色土 埴輪色土多量
- 28 褐色土 埴輪色土多量
- 29 埴輪色土 4層より強い、炭化物少量、1m口-ム粒少量

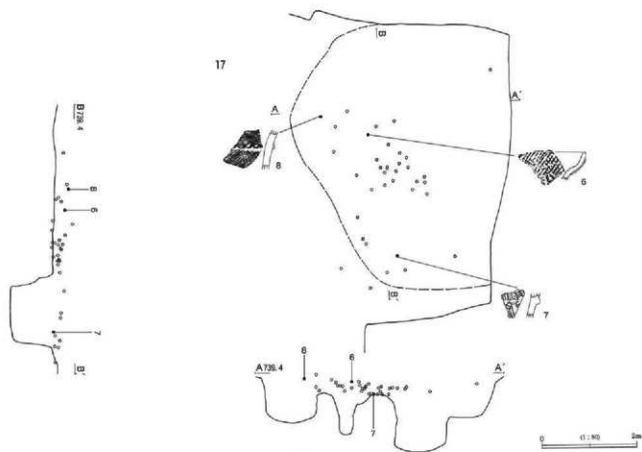
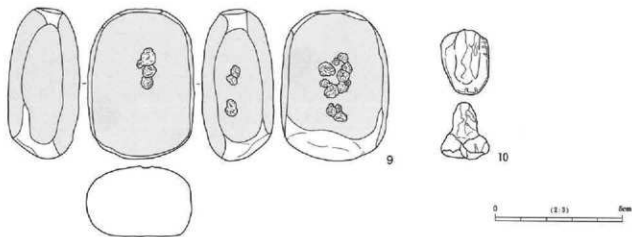
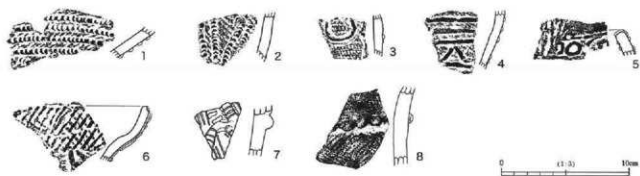
南北セクション

- 1 埴輪色土 炭化物少量、1m口-ム粒少量
- 2 埴輪色土 1層より明るい、炭化物少量、5m~1m口-ム粒少量
- 3 埴輪色土 1・2層より強い、炭化物少量、1m口-ム粒やや多量
- 4 埴輪色土 3層より強い、褐色土やや多量、炭化物多量、5m~2m口-ム粒多量
- 5 褐色土 埴輪色土少量
- 6 褐色土 5層より強い、埴輪色土多量、炭化物少量
- 7 埴輪色土 2層より強い、4層より明るい、炭化物少量、5m口-ム粒やや多量
- 8 褐色土 埴輪色土少量
- 9 埴輪色土 4層より強い、褐色土少量
- 10 埴輪色土 4・5層より強い、褐色土少量
- 11 埴輪色土 褐色土やや多量、1~3m口-ム粒少量

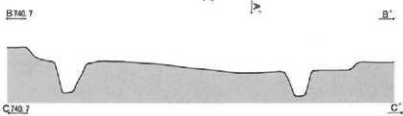
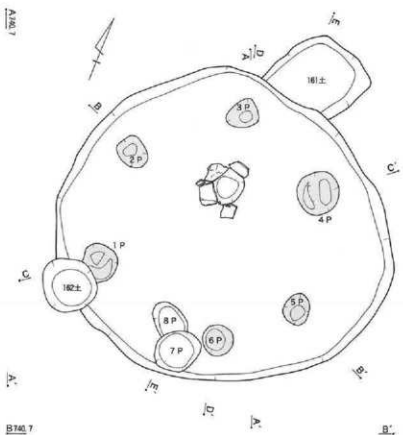
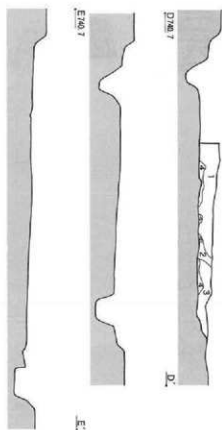
0 (1/40) 3m



第33図 6号住居跡

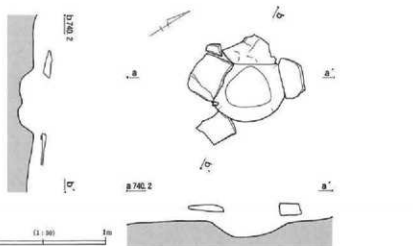


第34图 6号住居跡出土遺物、遺物出土状況

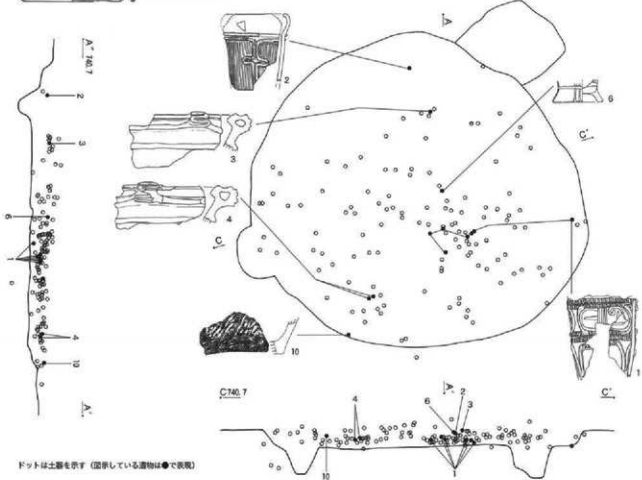
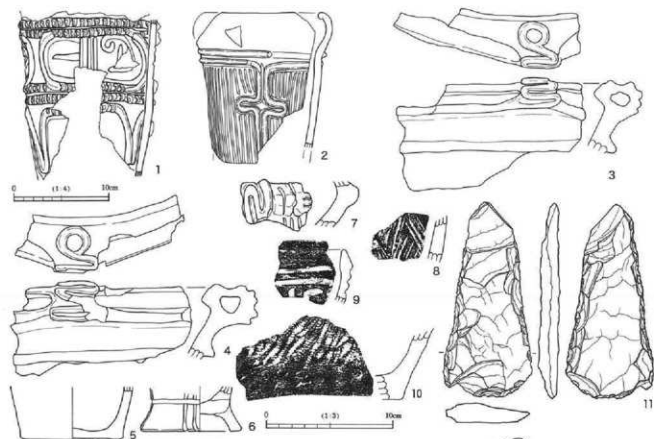


7号住居

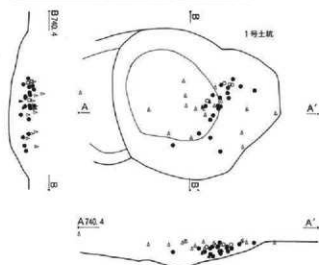
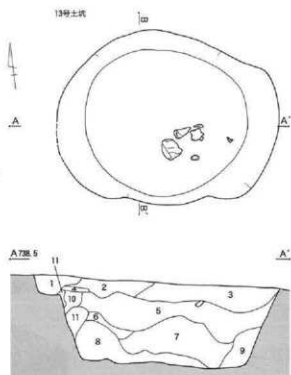
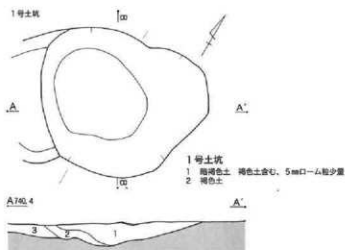
- 1 暗褐色土 褐色土少量、炭化物少量、5mm口～粗少量
- 2 暗褐色土 1層より明るい、褐色土少量、炭化物少量
- 3 暗褐色土 2層より明るい、褐色土やや多量、炭化物少量
- 4 褐色土 暗褐色土少量、しりりあり
- 5 褐色土 暗褐色土少量、炭化物少量



第35図 7号住居跡、石囲炉

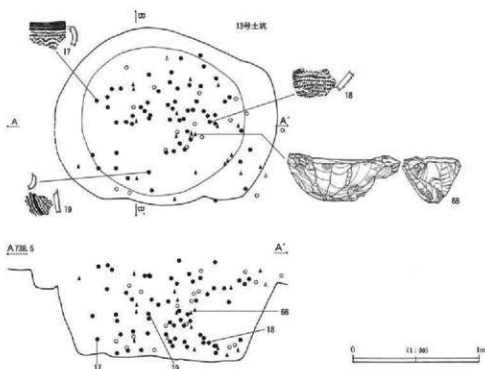
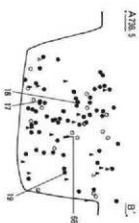


第36図 7号住居跡出土遺物、遺物出土状況

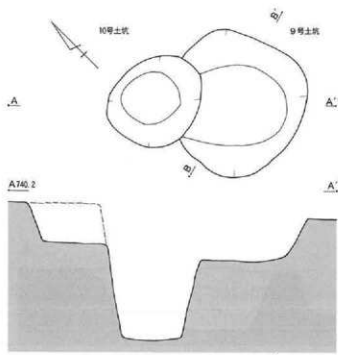


13号土坑

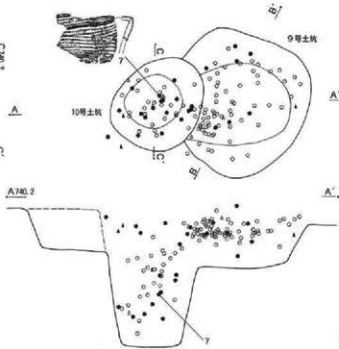
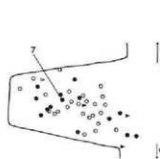
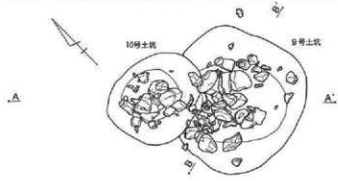
- 1 暗褐色土 褐色土多量、5m口—1m程少量 (散乱)
 2 暗褐色土 2層より明るい、褐色土少量
 3 暗褐色土 2層より明るい、暗褐色土少量、炭化物少量、1m口—1m程少量
 4 褐色土
 5 暗褐色土 2層より明るい、3層より暗い、褐色土多量、炭化物少量、1—5m口—1m程少量
 6 暗褐色土 5層より暗い、褐色土含む
 7 暗褐色土 5・6層より暗い、褐色土含む、炭化物やや多量、1—30m口—1m程やや多量
 8 褐色土 暗褐色土多量、炭化物やや多量、1m口—1m程やや多量
 9 暗褐色土 5層より暗い、7層より明るい、褐色土多量、炭化物やや多量、1m口—1m程含む
 10 暗褐色土 5層より暗い、褐色土やや多量、根の痕跡
 11 褐色土 暗褐色土少量、土山?



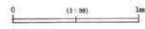
第37図 1・13号土坑



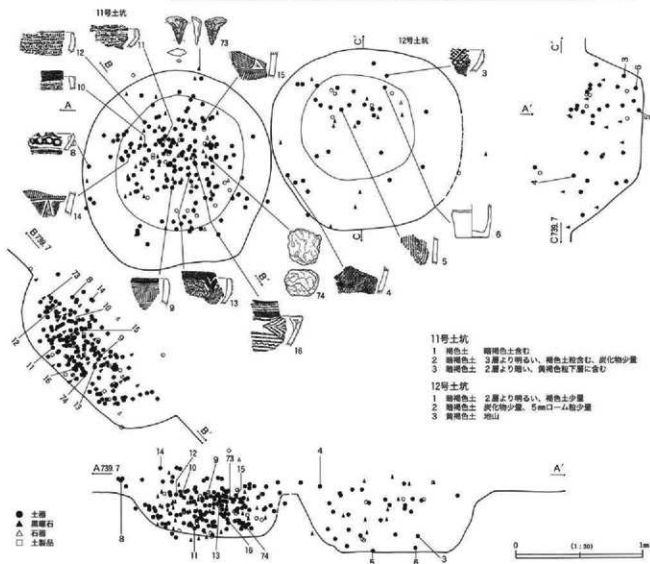
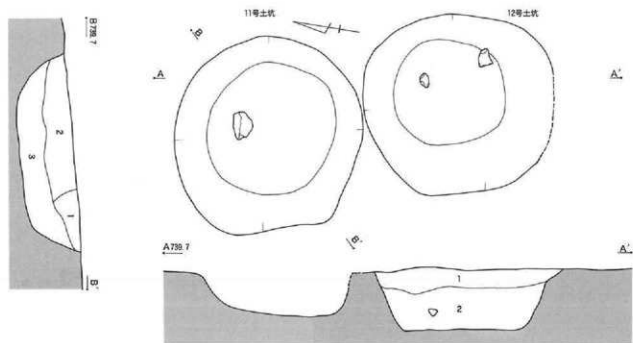
9号土坑
 1 暗褐色土 褐色土混じり、炭化物少量、1mm口-ム粒少量
 2 褐色土 黄褐色土混じり、炭化物若干、黄褐色ローム状下層に少量



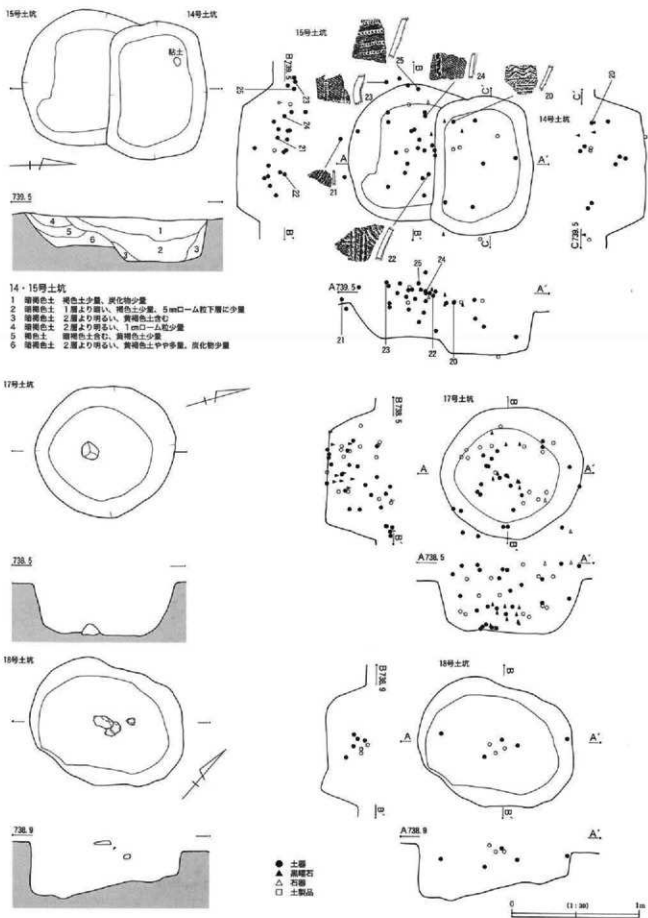
● 土器
 ▲ 磨製石
 △ 石器
 □ 土製品



第38图 9・10号土坑

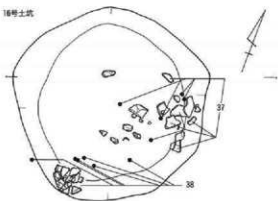


第39図 11・12号土坑

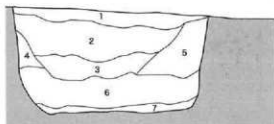


第40图 14・15・17・18号土坑

16号土坑



738.4

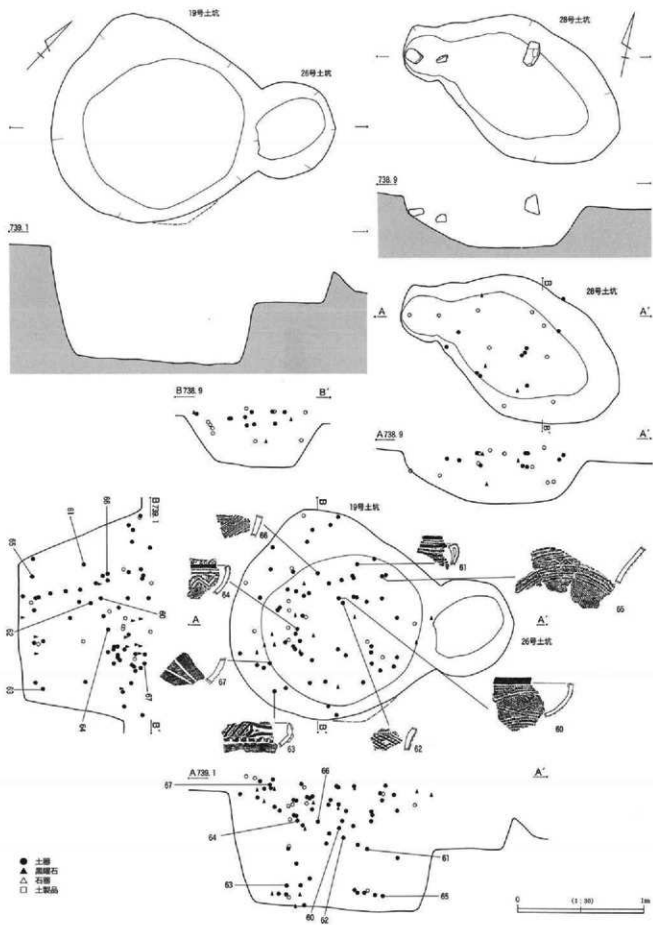


16号土坑

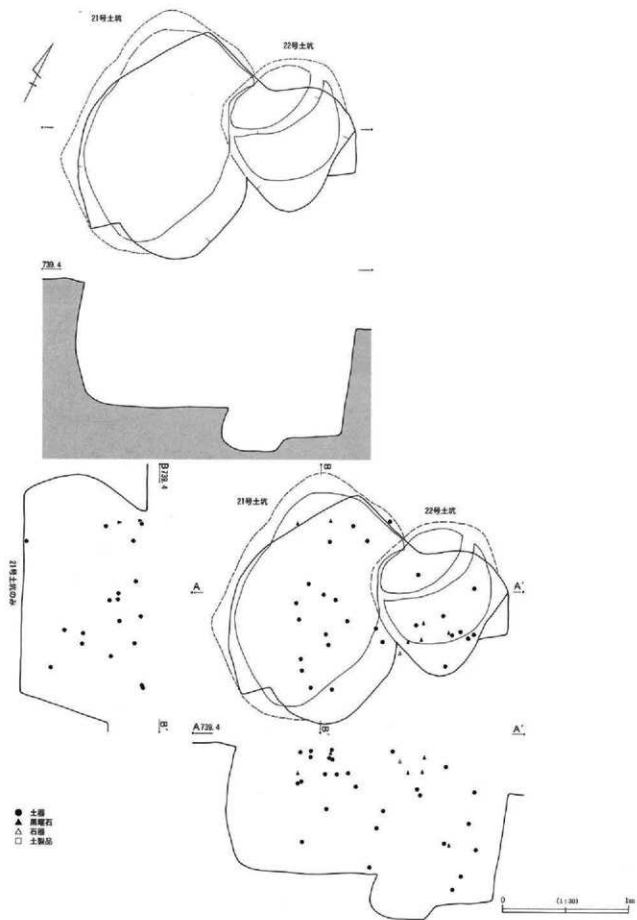
- 1 暗褐色土 褐色土少量
- 2 褐色土 暗褐色土少量、炭化物少量、1~3cm口~ム粒少量
- 3 暗褐色土 暗褐色土少量、炭化物少量
- 4 褐色土 2層より明るい
- 5 暗褐色土 1層より明るい、3層より明るい、褐色土少量、炭化物少量
- 6 暗褐色土 3・5層より暗い、褐色土やや多量、炭化物やや多量、1~10cm口~ム粒多量
- 7 暗褐色土 6層より明るい、しまりあり、1~3cm口~ム粒やや多量



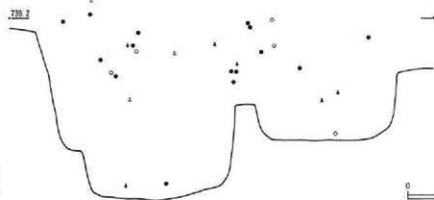
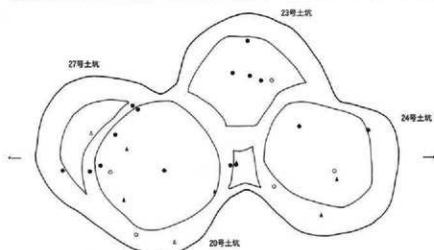
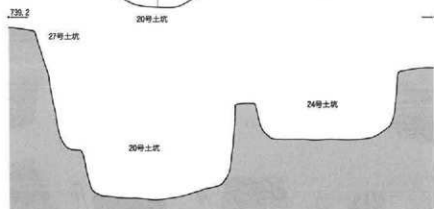
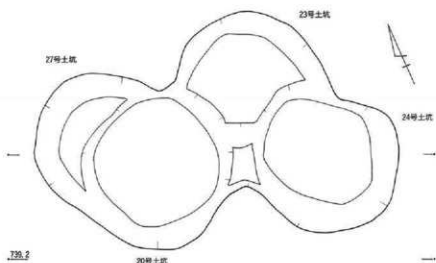
第41図 16号土坑



第42图 19·26·28号土坑



第43图 21·22号土坑

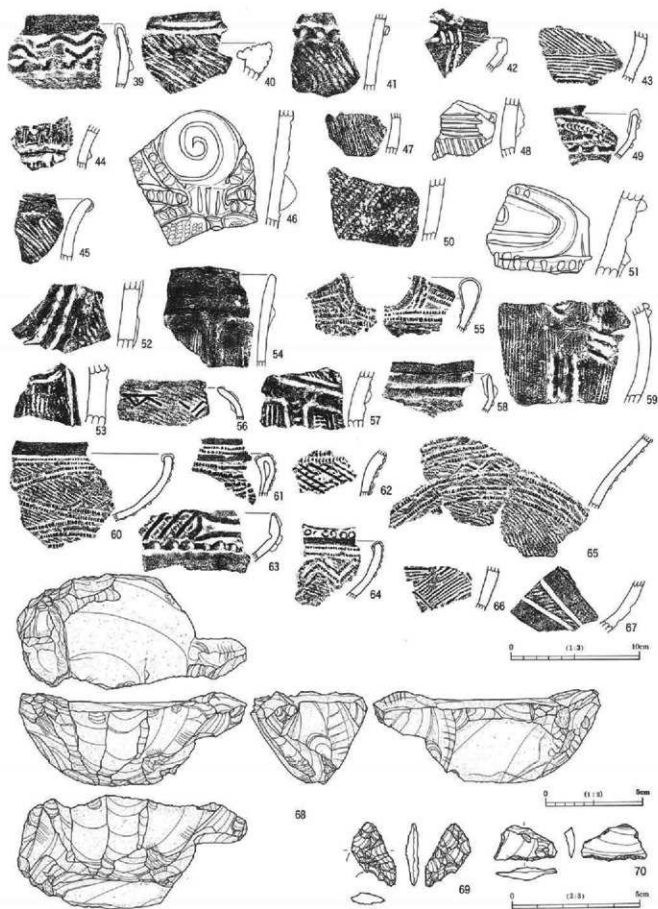


- 土器
- ▲ 陶磁石
- △ 石器
- 土製品

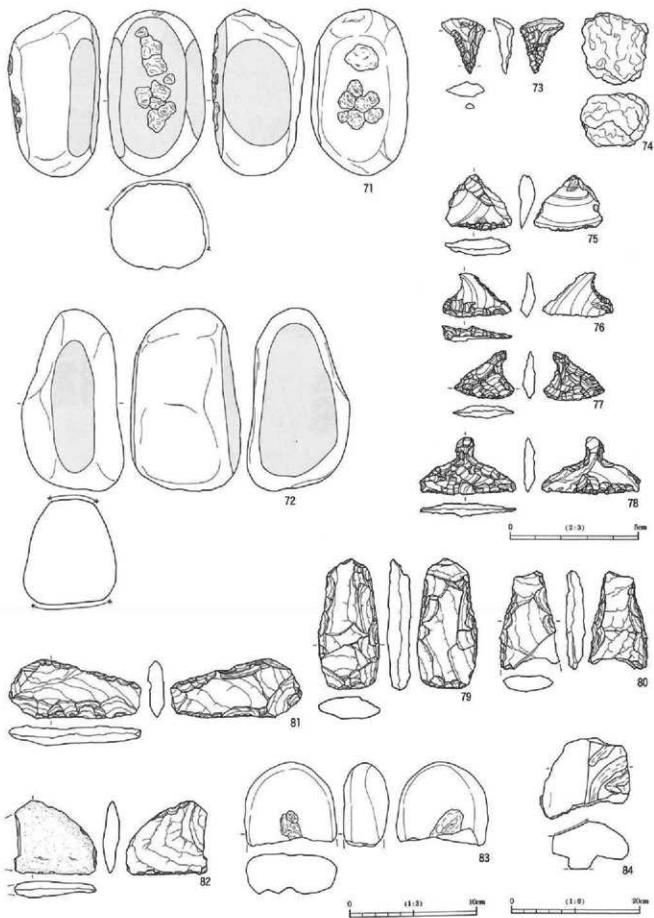
第44图 20·23·24·27号土坑



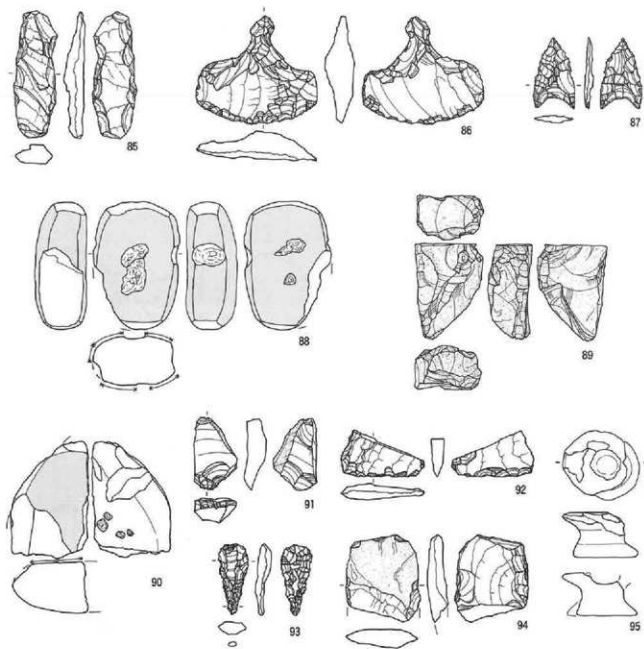
第45图 土坑出土遗物①



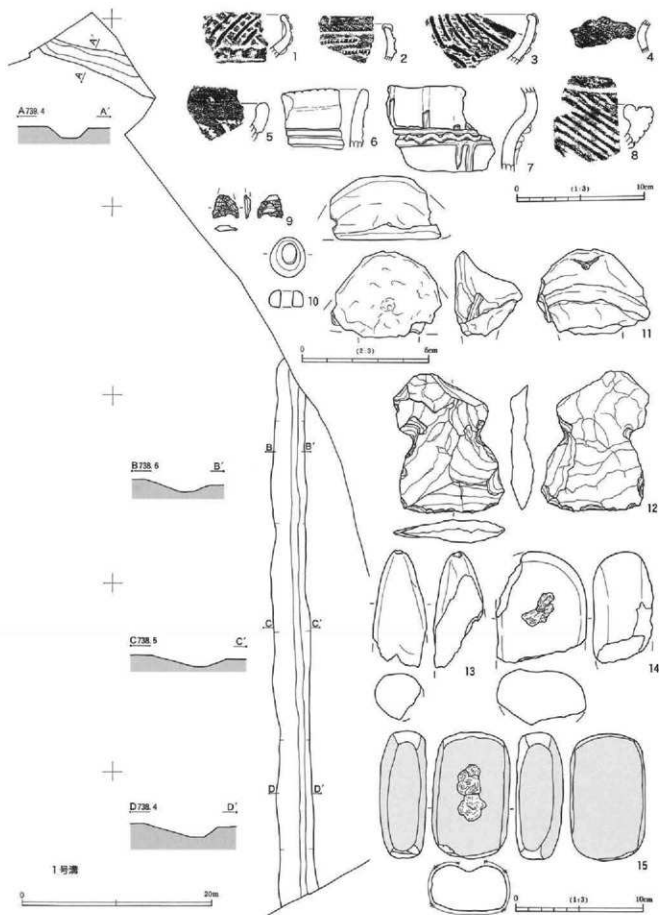
第46图 土坑出土器物②



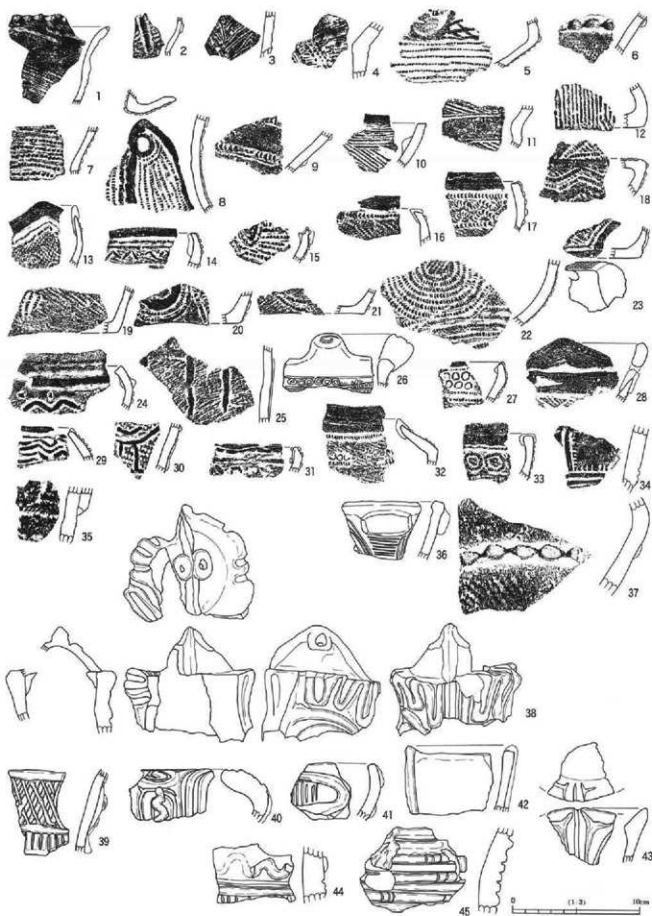
第47图 土坑出土遺物③



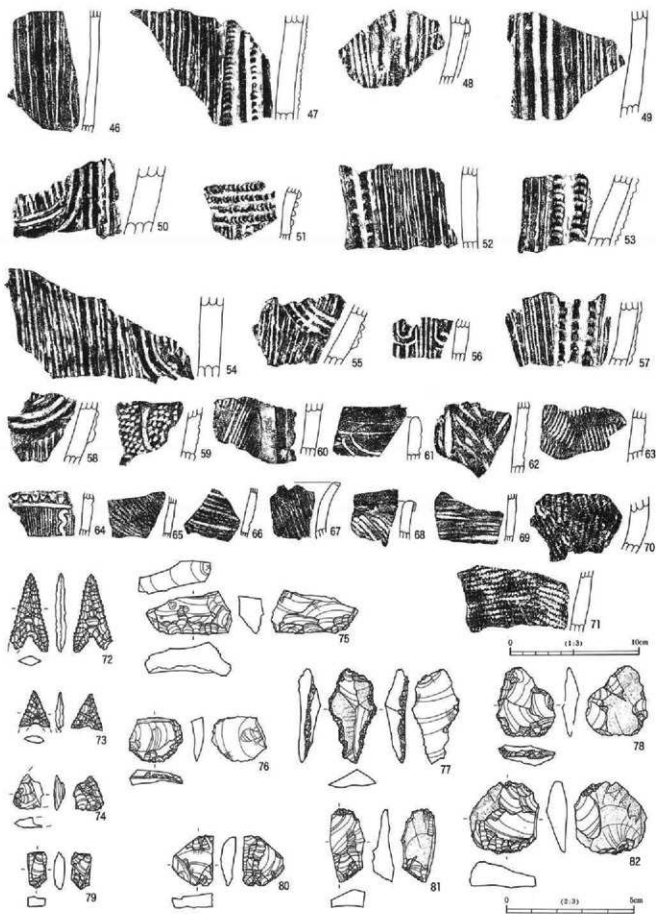
第48图 土坑出土遗物④



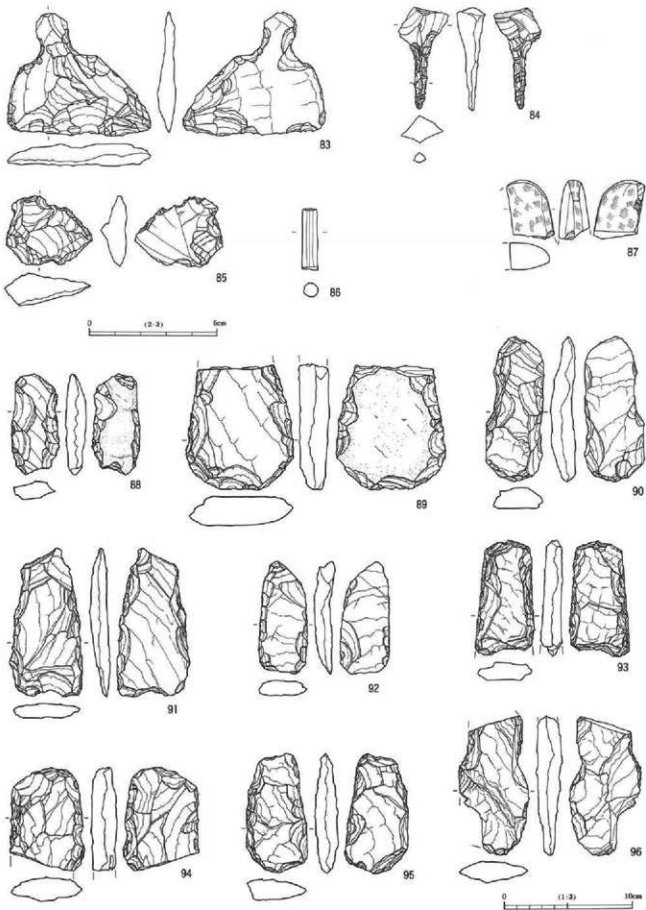
第49图 1号溝、出土遺物



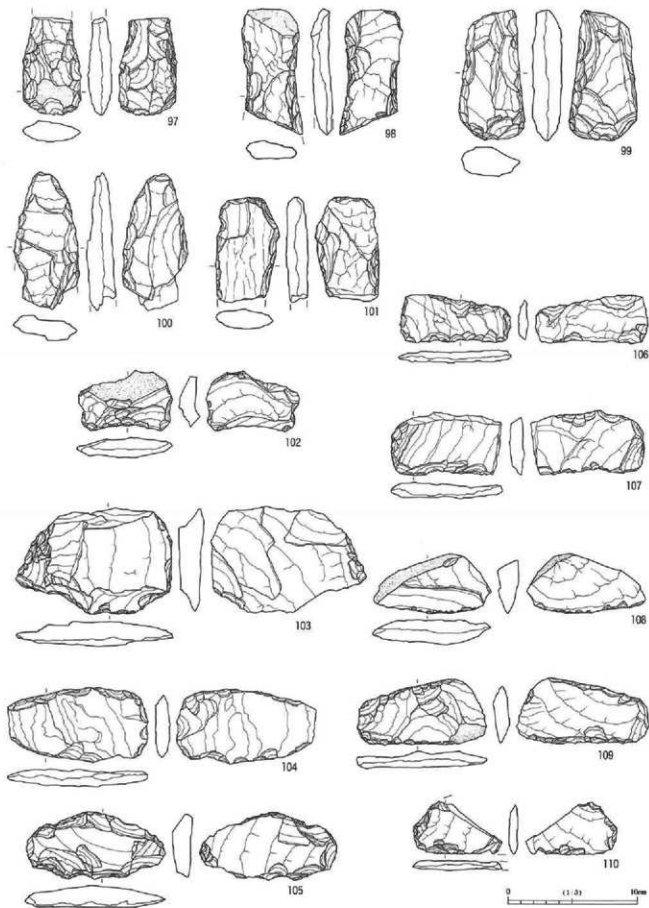
第50圖 遺構外出土遺物①



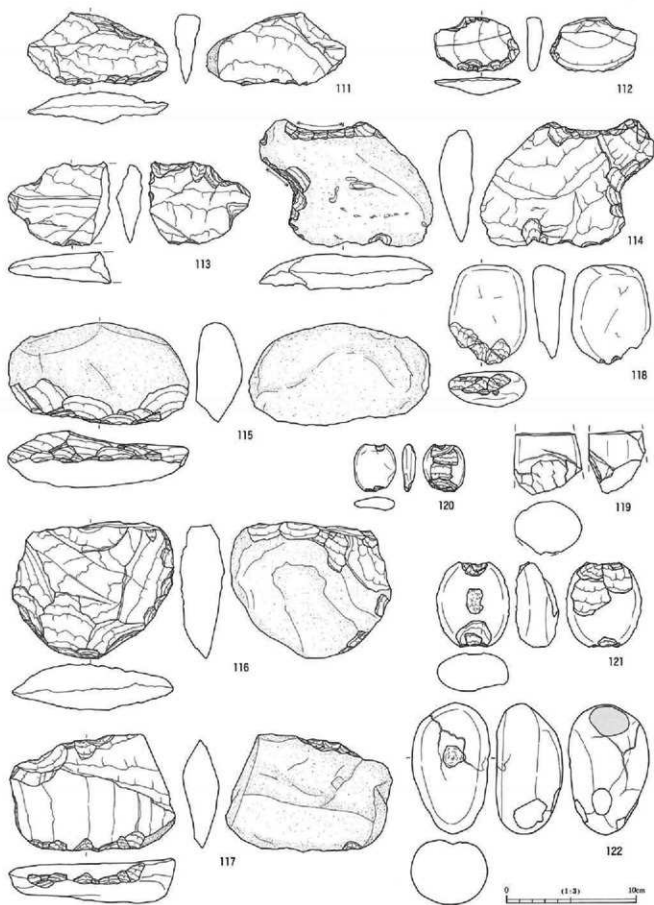
第51图 遼陽外出土遺物②



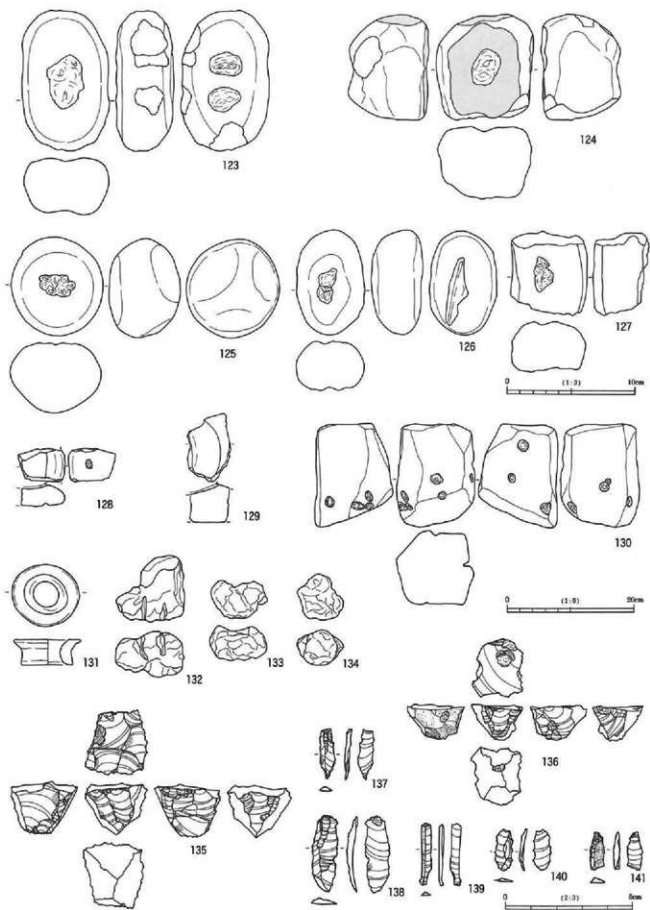
第52図 遺構外出土遺物③



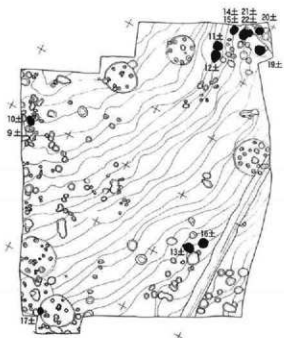
第53图 濠佛外出土遺物④



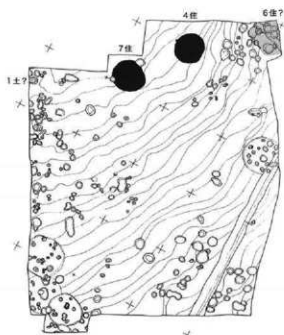
第54図 遺構外出土遺物⑥



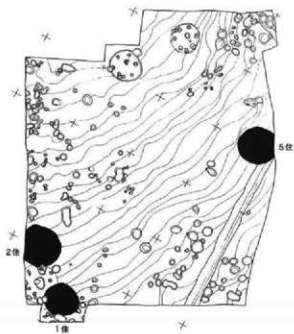
第55圖 遺構外出土遺物⑥



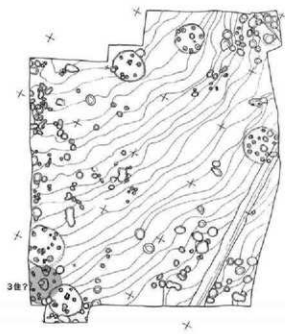
縄文前期末



井戸尻式期



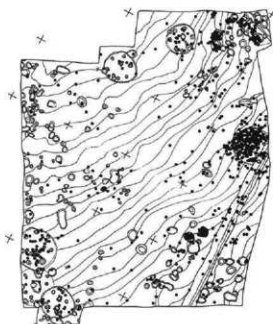
曾利Ⅰ式古段階



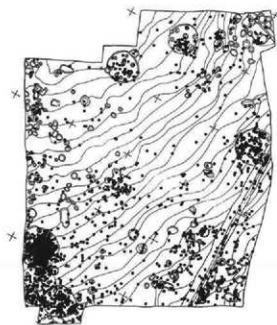
曾利Ⅰ式新段階



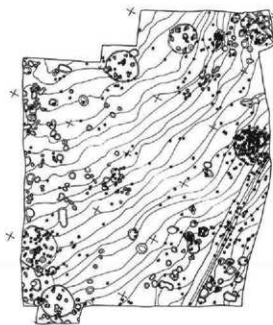
土器全体



縄文前期末



井戸尻式～曾利I式



黒曜石

第2表 十坑一頁表

集出先	グリッド	長機(m)	短機(m)	深さ(m)	備考	集出先	グリッド	長機(m)	短機(m)	深さ(m)	備考
1号十坑	D-1-2	42	116	8.1-12.3		2号十坑	E-2	116	64	8.5-12.2	
2号十坑	E-2	43	46	3.8-9.0		3号十坑	E-2	43	46	24.2-26.5	
3号十坑	E-2	43	46	5.8-7.2		4号十坑	E-2	159	58	4.0-9.7	
5号十坑	E-2	57	71	8.9-12.9		6号十坑	F-2	182	124	14.5-15.5	
7号十坑	F-2	182	124	20.5-15.2		8号十坑	F-2	95	78	4.8-5.3	
8号十坑	F-2	95	78	9.7-15.7		9号十坑	E-2	117.5	(94)	16.3-34.7	
10号十坑	E-2	76	69	72.2-91.7		11号十坑	E-5	157	54	28.0-41.0	
12号十坑	E-5	153	128	20.5-15.2		13号十坑	E-5	172.5	138	56.0-62.0	
14号十坑	B-4	102	(76)	20.5-26.7		15号十坑	B-4	107	(87.5)	17.7-27.2	
16号十坑	B-4	107	(87.5)	17.7-27.2		17号十坑	G-1	109	103	33.6-39.0	
18号十坑	D-5	125	96	24.3-15.9		19号十坑	B-4	150	105	77.0-96.7	
20号十坑	B-4	115	(110)	66.7-11.7		21号十坑	B-4	181	114	64.0-85.2	
22号十坑	B-4	97	10.5	64.5-87.0		23号十坑	B-4	(117)	(107)	47.8-22.3	
24号十坑	B-4	(117)	(107)	47.8-22.3		25号十坑	B-4	83	26	28.3-14.7	
26号十坑	F-4	83	26	40.4-20.7		27号十坑	B-5	75	64.5	20.2-33.6	
28号十坑	F-4	83	26	98.8-88.2		29号十坑	D-5	101.5	101.5	28.0-19.0	
30号十坑	B-4	80	80	5.3-8.7		31号十坑	B-4	117.5	83	18.7-28.0	
32号十坑	B-4	89	88	17.0-26.5		33号十坑	B-4	89	88	18.4-3.5	
34号十坑	B-4	113	85	24.2-40.0		35号十坑	B-4	45	32	70.3-1.8	
36号十坑	B-4	79.5	56.5	7.9-12.7		37号十坑	B-4	94.0	67	14.8-18.5	
38号十坑	B-4	82	74	14.6-18.7		39号十坑	B-4	95	86	8.8-13.4	
40号十坑	B-4	133	104.5	14.0-33.9		41号十坑	C-4	(77.5)	51	15.5	
42号十坑	C-4	(77.5)	51	15.5		43号十坑	C-4	(61)	46.3	44.4-17.9	
44号十坑	C-4	80	58	65.4-67.8		45号十坑	C-4	94.0	72	12.9-2.3	
46号十坑	C-4	37	82.3	6.8-10.9		47号十坑	C-4	37	32	12.4-11.6	
48号十坑	C-4	49.5	47.5	30.0-20.8		49号十坑	C-4	50	40	18.8-10.4	
50号十坑	C-4	52	60	14.4-15.1		51号十坑	G-3	147	60	8.2-14.1	
52号十坑	C-3	(73)	51	9.5-12.2		53号十坑	D-1	(82)	(25)	3.8-8.1	
54号十坑	D-1	(82)	(25)	3.8-8.1		55号十坑	D-1	(116)	(48)	3.1-6.5	
56号十坑	D-1	108	80	4.8-10.4		57号十坑	D-2	30	40	3.7-8.8	
58号十坑	D-2	34	47	5.7-8.9		59号十坑	D-2	71	69.3	13.8-19.8	
60号十坑	D-2	68	46	8.5-10.8		61号十坑	D-2	170	140	13.9-17.1	
62号十坑	D-2-3	170	140	13.9-17.1		63号十坑	D-3	84	70	17.2-28.0	
64号十坑	D-3	84	70	10.5-14.7		65号十坑	D-3	101	75	18.6-22.9	
66号十坑	D-3	87	85	17.5-20.9		67号十坑	D-2	159	126.3	6.2-12.6	
68号十坑	D-2	91	157	7.7-14.4		69号十坑	D-2	85	82	14.8-20.5	
70号十坑	D-2	132	80	14.7-17.1		71号十坑	D-2	(132)	80	16.2-26.1	
72号十坑	D-2	68	52	7.2-11.4		73号十坑	D-2-2	114	70	14.8-18.8	
74号十坑	D-2-2	114	70	14.8-18.8		75号十坑	D-2-2	56	49	15	
76号十坑	D-2	(74)	43	15.4-16.4		77号十坑	D-2	121	(57)	5.6-10.4	
78号十坑	D-2	76	40	0.5-11.8		79号十坑	D-2	143	80	10.1-11.8	
80号十坑	E-5	222	112	16.8-20.5		81号十坑	G-5	141	68	7.9-8.1	
82号十坑	E-2	141	68	7.9-8.1		83号十坑	E-2	93	52	7.7-20.1	
84号十坑	E-2	94	58	4.1-5.9		85号十坑	E-2	174	100	8.4-19.5	
86号十坑	E-2	64	64	9.9-10.7		87号十坑	E-2	(53)	75	19.0-22.3	
88号十坑	E-2	100	70	13.6-25.4		89号十坑	E-2	113	77	8.1-11.8	
90号十坑	E-2	105	104	8.8-15.5		91号十坑	E-3	76	74	27.6-29.3	
92号十坑	E-3	76	74	11.3-14.5		93号十坑	E-3	120	121	9.3-18.5	
94号十坑	E-3	54	47	9.3-9.7		95号十坑	E-3	54	47	9.3-9.7	
96号十坑	E-2	50	46	18.9-20.1		97号十坑	F-2	115	88	11.8-13.0	
98号十坑	F-2	115	88	11.8-13.0		99号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
100号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		101号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
102号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		103号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
104号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		105号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
106号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		107号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
108号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		109号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
110号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		111号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
112号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		113号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
114号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		115号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
116号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		117号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
118号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		119号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
120号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		121号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
122号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		123号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
124号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		125号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
126号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		127号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
128号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		129号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
130号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		131号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
132号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		133号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
134号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		135号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
136号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		137号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
138号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		139号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
140号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		141号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
142号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		143号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
144号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		145号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
146号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		147号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
148号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		149号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
150号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		151号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
152号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		153号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
154号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		155号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
156号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		157号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
158号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		159号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
160号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		161号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
162号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		163号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
164号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		165号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
166号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		167号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
168号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		169号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
170号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		171号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
172号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		173号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
174号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		175号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
176号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		177号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
178号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		179号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
180号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		181号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
182号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		183号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
184号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		185号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
186号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		187号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
188号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		189号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
190号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		191号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
192号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		193号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
194号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		195号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
196号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		197号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
198号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8		199号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8	
200号十坑	F-2	69	50	16.4-17.8							

第3表 住居内ピット一覧表

住居名	グリッド	ピットNo	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考	住居名	グリッド	ピットNo	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考
1号住居	G-3・4	1	58	55	39.1		4号住居	B-C-3・4	1	74	64	48.1	主柱穴
		2	79	58	21	主柱穴			2	88	72	54.3	主柱穴
		3	61	48	37.6	主柱穴			3	69	64	43	主柱穴
		4	52	51	29	主柱穴			4	64	69	48	主柱穴
		5	55	50	47.3	主柱穴			5	66	53	46.1	主柱穴
		6	36	30	20.8				6	63	56	40.9	主柱穴
		7	74	33	23.5				7	68	56	38.2	
		8	77	60	54.8				8	68	56	70.1	
2号住居	F・G-4	1	80	66	60.6	主柱穴	5号住居	C・D-2	1	92	87	38.7	
		2	(58)	72	76.5	主柱穴			2	63	54	37.3	
		3	77	60	62.1	主柱穴			3	118	105	23.7	
		4	73	61	81.3	主柱穴			4	66	58	48	主柱穴
		5	50	47	64.1	主柱穴			5	67	43	46.2	主柱穴
		6	63	51	72.5	主柱穴			6	56	43	41.7	主柱穴
		7	99	89	47	主柱穴			7	75	62	42	主柱穴
		8	42	34	4.7				8	69	57	42.9	主柱穴
		9	39	33	9.3				9	65	63	37.6	主柱穴
		10	28	27	8.3				10	66	55	31.3	
		11	39	37	12.5				11	55	55	18	
		12	72	39	13				12	89	70	14.7	
		13	68	59	39				13	52	42	16.3	
14	54	41	15.4		14	72	(53)	35.4					
15	35.5	33	13.1		15	55	48	29.2					
16	44	36.5	17.4		16	53	51	43.4					
17	45	40.5	9.8		7号住居	G・D-4	1	56	(46)	47	主柱穴		
18	54.5	33.5	11.3				2	52	41	47	主柱穴		
19	33	33	0.8?				3	90	42	33	主柱穴		
1	44	37	32.4	主柱穴			4	66	62	50	主柱穴		
2	54	48	9.2	主柱穴			5	47	39	39	主柱穴		
3	(32.5)	37.5	5.8	主柱穴			6	51.5	47.5	29	主柱穴		
4	56	49	18.6				7	74	(59)	(21)			
5	50.5	43	7.7	主柱穴			8	(53)	47	(6)			
6	44	41	15.2										
7	55	33	20.6	主柱穴									
8	(48)	(25)	13	主柱穴									
9	80	59	25.4										
10	(89)	(42)	14.2										
11	(31)	(35)	17.2										
12	55	45	20.4										

第4表 石器・土製品観察表①

図版番号	図番号	遺物番号	器種	出土位置	最大径(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	石材	備考	
第14図	45	3265	硯石	1位	5.4	6.4	2.5	87.9	砂岩	
第14図	46	724	磨石	1位	(5.25)	2.0	0.8	(13.3)	磨灰岩	有溝
第14図	47	3863	粘土塊	1位	5.5	5.7	4.1	86.6	-	小型・窓門式
第14図	48	7597	打製石斧	1位	9.8	4.3	1.8	93.7	ホルンフェルス	
第14図	49	1506	打製石斧	1位	10.2	3.9	1.6	66.9	ホルンフェルス	
第14図	51	6858	打製石斧	1位	19.3	7.7	2.5	306.6	ホルンフェルス	
第14図	52	7080	横刃形石器	1位	4.4	5.7	1.2	34.4	ホルンフェルス	
第14図	53	8560	横刃形石器	1位	3.5	(6.5)	(1.1)	25.1	砂岩	
第14図	54	1946	横刃形石器	1位	4.4	7.8	1.5	41.8	ホルンフェルス	
第14図	55	6917	横刃形石器	1位	4.5	8.3	1.5	47.2	砂岩	
第14図	56	7109	横刃形石器	1位	4.8	9.9	1.3	51.3	砂岩	
第14図	57	1519	大型磨製石器	1位	6.1	(7.5)	1.7	54.0	砂岩	
第14図	50	1141	打製石斧	1位	(8.4)	5.6	2.1	86.5	ホルンフェルス	
第15図	58	3297	磨石	1位	11.1	6.4	5.8	504.0	安山岩	
第15図	59	1955	磨石	1位	11.6	9.1	5.7	861.0	安山岩	
第15図	60	3295	磨石	1位	10.7	9.2	7.3	725.0	安山岩	
第15図	61	8420	石皿	1位	28.3	21.9	7.3	5780.0	安山岩	
第15図	62	8414	石	1位	(18.0)	(17.9)	(7.7)	3950.0	安山岩	
第22図	113	1301	土製牙璋	2位	(2.3)	2.6	(1.3)	4.6	-	有孔
第22図	114	999	磁石	2位	2.4	4.1	1.8	16.6	凝灰岩	平安時代
第22図	115	3046	磨製石斧	2位	(1.75)	(2.2)	(0.8)	(3.7)	凝灰岩	小型・定角
第22図	116	2683	石塊	2位	(1.3)	(1.15)	(0.35)	(0.4)	黒曜石	磨削片
第22図	117	3326	磨石	2位	3.6	3.0	2.8	16.3	-	
第22図	118	3314	打製石斧	2位	(7.9)	(5.4)	(3.1)	111.5	砂岩	
第22図	119	1431	打製石斧	2位	(8.6)	(5.6)	(1.9)	203.0	ホルンフェルス	
第22図	120	2430	打製石斧	2位	(9.9)	(5.0)	(1.7)	86.0	ホルンフェルス	
第22図	121	3404-3469	打製石斧	2位	(8.3)	3.9	1.5	57.3	凝灰岩	接合
第22図	122	1052	横刃形石器	2位	4.5	3.2	2.2	134.5	ホルンフェルス	
第22図	123	1084	横刃形石器	2位	4.3	12.4	1.7	84.7	ホルンフェルス	

第5表 石器・土製品観察表②

図録番号	図番号	遺物番号	品名	出土位置	最大径(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	備考
第21図	124	3620	横刃形石斧	2世	3.7	11.7	1.3	53.6	砂岩	
第21図	125	2255	横刃形石斧	2世	5.8	(6.8)	(1.1)	45.1	ホルンフェルス	
第21図	126	2947	横刃形石斧	2世	5.1	7.7	1.7	64.6	砂岩	
第21図	127	996	横刃形石斧	2世	8.9	11.4	2.4	193.6	ホルンフェルス	
第21図	128	2818	横刃形石斧	2世	5.4	9.4	1.5	84.6	砂岩	
第21図	129	1191	磨石	2世	6.9	6.1	2.7	141.9	砂岩	
第21図	130	1796	磨石片	2世	(4.9)	(5.5)	(1.7)	45.1	凝灰岩	
第21図	131	1395	磨石片	2世	10.4	7.6	4.5	552.0	安山岩	
第21図	132	3446	磨石片	2世	15.3	7.9	6.6	1065.0	安山岩	
第21図	133	2207	石 皿	2世	(10.2)	(4.3)	(8.6)	248.3	安山岩	
第21図	134	8421	石 皿	2世	32.0	25.7	9.0	10000.0	安山岩	
第21図	1	982	石 匙	3世	3.0	4.6	1.1	9.7	瑠璃岩	横or斜型
第21図	2	671	石 匙	3世	1.9	1.6	0.4	0.8	チャート	
第21図	3	666	磨石片	3世	2.2	0.96	0.7	1.4	黒曜石	
第21図	4	1028	打製石斧	3世	9.4	4.7	1.7	81.1	ホルンフェルス	
第21図	5	3025	磨石片	3世	(11.6)	8.6	(4.9)	603.0	安山岩	
第25図	19	1962	粘土塊	3世	4.35	2.35	2.5	18.8	—	
第27図	9	4492	粘土塊	4世	1.65	2.5	1.3	2.4	—	
第27図	10	4482	磨石	4世	4.9	3.2	1.05	13.9	黒曜石	刃部2つ
第31図	37	6112-6123	約形土製品	5世	(4.6)	(4.3)	(5.3)	25.3	—	
第31図	38	4186	粘土塊	5世	3.2	3.0	2.25	15.3	—	
第31図	39	7734-①	石 皿	5世	(1.7)	(1.3)	(0.35)	(0.3)	黒曜石	柄部片
第31図	40	5739	磨石片	5世	2.6	4.5	0.6	1.9	黒曜石	
第31図	41	4242	磨石	5世	3.15	4.6	1.3	18.3	チャート	
第31図	42	7154	石 匙	5世	3.6	5.3	3.9	12.4	凝灰安山岩	横型
第31図	43	7421	流 石	5世	2.3	2.0	3.55	2.4	黒曜石	
第31図	44	6210	流 石	5世	1.4	1.15	0.48	0.7	黒曜石	
第31図	45	5371	流 石	5世	2.6	2.2	0.9	3.2	黒曜石	
第32図	46	7978	打製石斧	5世	(11.1)	4.4	1.9	94.4	砂岩	
第32図	47	4141	打製石斧	5世	11.7	4.5	2.1	116.5	砂岩	
第32図	48	6221	打製石斧	5世	12.0	4.2	2.2	95.4	砂岩	
第32図	49	4237	打製石斧	5世	(8.4)	(5.5)	(1.7)	94.3	砂岩	
第32図	50	257	横刃形石斧	5世	4.9	8.8	1.5	53.4	ホルンフェルス	
第32図	51	5588	横刃形石斧	5世	(2.7)	5.9	0.8	3.1	頁岩	
第32図	52	5246	横刃形石斧	5世	4.8	8.5	2.2	84.1	ホルンフェルス	
第32図	53	4243	磨石片	5世	9.3	7.0	4.6	354.8	安山岩	
第32図	54	6442	磨石	5世	5.5	4.1	3.2	78.8	黒曜石	
第32図	55	8960	台 石	5世	(24.3)	21.8	7.0	5380.0	安山岩	
第34図	9	8918	磨石片	6世	11.9	8.5	5.7	803.0	安山岩	
第34図	10	8845	粘土塊	6世	2.6	1.9	2.3	4.6	—	
第36図	11	9424	打製石斧	7世	15.5	6.9	1.7	190.2	ホルンフェルス	
第46図	68	7615	石 匙	13+	4.9	11.9	6.1	265.7	黒曜石	
第46図	69	7765	石 匙	13+	(2.5)	(1.7)	0.45	1.4	黒曜石	片割欠損
第46図	70	7555	磨石	13+	1.4	2.5	0.5	1.1	黒曜石	刃部2つ
第47図	71	3620	磨石片	9+	13.1	7.7	7.2	897.0	安山岩	
第47図	72	3306	磨石片	9+	14.4	8.0	8.8	1242.0	安山岩	
第47図	73	6885	石 皿	11+	2.2	1.7	0.8	1.4	黒曜石	つまみ部あり
第47図	74	6891	粘土塊	11+	2.9	2.6	2.2	43.3	—	
第47図	75	8515	磨石	16+	2.2	3.6	0.7	3.0	黒曜石	
第47図	76	7563	磨石	16+	1.75	2.7	0.65	1.5	黒曜石	
第47図	77	8826	石 匙	16+	1.9	2.4	0.5	1.4	黒曜石	横型or斜型
第47図	78	8853	石 匙	16+	2.3	3.8	0.55	2.5	チャート	横型
第47図	79	7936	打製石斧	16+	10.4	4.9	1.9	112.4	砂岩	
第47図	80	7904	打製石斧	16+	(7.8)	(4.7)	(1.4)	48.4	ホルンフェルス	
第47図	81	8637	横刃形石斧	16+	4.7	10.3	1.7	75.0	ホルンフェルス	
第47図	82	7389	横刃形石斧	16+	5.8	(6.4)	(1.3)	50.8	ホルンフェルス	
第47図	83	8706	磨石片	16+	(6.6)	(7.3)	(3.5)	196.5	安山岩	
第47図	81	7995	石 皿	16+	(12.6)	(13.6)	(7.8)	1213.0	安山岩	
第48図	85	8703	打製石斧	20+	10.1	3.5	1.7	49.3	ホルンフェルス	
第48図	86	7306	石 匙	20+	4.3	4.8	1.15	17.4	瑠璃岩	横型
第48図	87	7397	石 匙	20+	2.8	1.65	0.9	1.1	チャート	印はシガ等く入るチャート
第48図	88	4868	磨石片	34+	10.1	(6.8)	(4.6)	507.5	安山岩	
第48図	89	5672	磨石	45+	5.0	3.6	2.3	47.2	黒曜石	
第48図	90	8976	台 石	68+	(18.3)	(12.4)	(8.1)	2530.0	安山岩	
第48図	91	2612	流 石	105+	2.9	1.7	0.95	4.2	黒曜石	
第48図	92	7370	横刃形石斧	150+	3.7	6.6	1.3	29.6	砂岩	
第48図	83	8639	石 皿	165+	2.8	1.2	0.6	1.4	黒曜石	つまみ部あり
第48図	94	4723	打製石斧	174+	(6.9)	(5.9)	(1.6)	71.2	ホルンフェルス	
第48図	95	1402	土製品	180+	(2.8)	(3.0)	1.8	9.6	—	無し
第49図	9	5122	石 皿	1歳	(0.9)	1.0	0.2	(0.1)	黒曜石	片割欠損
第49図	10	857	磨石	1歳	1.6	1.4	0.8	2.1	磨石	青丸
第49図	11	4584	石 皿	1歳	(2.6)	(4.4)	(3.4)	25.6	—	断面、横は割がれている
第49図	12	4720	大型磨石片	1歳	11.1	8.5	1.9	157.4	ホルンフェルス	

第6表 石器・上製品観察表③

図番	図号	産地	産物	出土位置	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	備考
第49回	13	5016	磨製石斧	1溝	(9.2)	(7.2)	(3.8)	150.8	ホルンフェルス	
第49回	14	4962	磨石	1溝	(8.7)	(7.1)	(4.7)	368.0	安山岩	
第49回	15	4761	磨石	1溝	10.0	6.0	3.7	332.1	安山岩	
第51回	72	3565	石 錘	E-2	(3.1)	(1.5)	0.4	1.3	チャート	片断欠損
第51回	73	118	石 錘	D-4	(1.4)	(1.2)	0.3	(0.3)	黒曜石	断片欠損
第51回	74	9129	石 錘?	D-2	(1.4)	(1.2)	(0.45)	(0.4)	黒曜石	片断器片?
第51回	75	8260	削 器	E-5	1.7	3.4	1.4	6.1	黒曜石	
第51回	76	219	撻 器	D-6	1.8	2.1	0.6	1.8	黒曜石	
第51回	77	3943	撻 器	E-3	3.75	1.9	0.7	3.4	黒曜石	
第51回	78	7495	撻 器	F-5	2.75	2.35	0.85	4.1	黒曜石	
第51回	79	1472	楔形石斧	G-4	1.45	0.8	0.45	0.5	黒曜石	
第51回	80	5719	楔形石斧	S 1c	2.0	1.6	0.35	1.9	黒曜石	
第51回	81	8c34	楔形石斧	F-6	2.9	1.35	0.8	3.3	黒曜石	
第51回	82	5687	楔形石斧	C-4	2.9	2.8	1.0	7.1	黒曜石	
第52回	83	210	石 錘	C-4	4.9	3.65	0.9	21.8	凝灰岩	柄型
第52回	84	8666	石 錘	E-6	4.05	1.9	1.2	3.2	黒曜石	つまみ部あり
第52回	85	4334	石 錘	C-5	5.25	3.4	1.3	8.1	チャート	未製品
第52回	86	9003	バスタル形石器	G-4	2.4	0.6	0.7	1.7	凝灰岩	
第52回	87	3039	磨製石斧	E-4	(4.7)	(3.9)	(2.5)	(60.5)	凝灰岩	蓋板片
第52回	88	1702	打石石斧	G-3	8.0	3.8	1.6	56.1	ホルンフェルス	
第52回	89	6761	打石石斧	F-5	(10.0)	8.6	2.3	285.3	砂岩	
第52回	90	4139	打石石斧	D-5	11.5	5.5	2.0	103.8	ホルンフェルス	
第52回	91	50	打石石斧	表層	11.8	5.8	1.6	112.4	ホルンフェルス	
第52回	92	4860	打石石斧	B-4	8.9	4.0	1.6	59.9	ホルンフェルス	
第52回	93	561	打石石斧	K-3	(9.2)	(4.7)	(1.8)	95.6	ホルンフェルス	
第52回	94	4543	打石石斧	C-3	(8.2)	5.9	2.1	120.6	ホルンフェルス	
第52回	95	939	打石石斧	E-4	9.5	4.9	1.9	96.7	ホルンフェルス	
第52回	96	124	打石石斧	試掘	(11.1)	(5.6)	(2.1)	116.3	ホルンフェルス	
第53回	97	113	打石石斧	試掘	(7.8)	4.6	1.9	79.3	ホルンフェルス	
第53回	98	9421	打石石斧	C-2	(10.0)	(4.9)	(1.8)	76.9	ホルンフェルス	
第53回	99	14	打石石斧	F-2	10.4	5.3	2.4	154.7	ホルンフェルス	
第53回	100	4103	打石石斧	G-5	(10.9)	(5.2)	(2.4)	106.0	ホルンフェルス	
第53回	101	9445	打石石斧	C-3	(8.4)	5.0	1.7	89.7	ホルンフェルス	
第53回	102	6028	磨製石錘	E-4	4.8	7.4	1.6	49.1	ホルンフェルス	
第53回	103	3590	磨製石錘	D-2	8.5	12.2	2.0	204.1	ホルンフェルス	
第53回	104	4412	磨製石錘	B-3	6.0	11.0	1.4	95.2	ホルンフェルス	
第53回	105	5907	磨製石錘	E-4	5.4	10.9	1.7	109.6	ホルンフェルス	
第53回	106	915	磨製石錘	E-5	3.8	8.8	1.1	37.3	ホルンフェルス	
第53回	107	8295	磨製石錘	E-6	5.1	8.7	1.3	71.5	ホルンフェルス	
第53回	108	4147	磨製石錘	C-3	4.7	9.3	2.0	68.7	ホルンフェルス	
第53回	109	1436	磨製石錘	試掘	5.2	10.3	1.3	71.9	ホルンフェルス	
第53回	110	514	磨製石錘	G-4	(4.1)	(7.0)	(0.8)	19.6	ホルンフェルス	
第54回	111	4536	磨製石錘	C-4	5.8	10.9	2.6	104.6	ホルンフェルス	
第54回	112	635	磨製石錘	K-4	4.3	6.7	1.4	36.1	ホルンフェルス	
第54回	113	6827	大型磨製石錘	F-5	(6.6)	(8.0)	(2.5)	111.7	ホルンフェルス	
第54回	114	2645	大型磨製石錘	F-3	10.1	13.5	2.9	368.8	砂岩	
第54回	115	3771	磨 器	D-3	8.1	14.1	4.5	527.0	ホルンフェルス	
第54回	116	4833	磨 器	C-4	10.8	12.6	3.6	549.0	ホルンフェルス	
第54回	117	4613	磨 器	D-6	9.3	13.1	3.6	475.0	凝灰岩	
第54回	118	8245	磨 器	K-4	7.9	6.1	2.8	177.7	砂岩	
第54回	119	9232	磨製石斧	G-4	(4.9)	(5.3)	(4.4)	160.9	凝灰岩	
第54回	120	試掘	石 錘	試掘	3.7	3.3	1.0	14.6	ホルンフェルス	
第54回	121	4001	石 錘	E-4	6.7	5.8	3.3	141.3	安山岩	推定
第54回	122	3700	磨石	F-4	10.3	6.2	5.2	456.0	安山岩	
第54回	123	T-8	磨石	試掘	11.1	6.9	4.5	519.0	安山岩	
第54回	124	4823	磨石	B-4	8.3	7.7	6.3	610.0	安山岩	
第54回	125	3565	磨石	E-2	7.8	7.3	5.6	373.8	安山岩	柄型の一部欠けている
第54回	126	154	磨石	D-5	8.2	5.4	4.1	202.6	安山岩	
第54回	127	380	磨石	D-2	6.6	6.0	4.4	216.0	安山岩	
第54回	128	4288	石 皿	F-6	(5.3)	(7.4)	(3.3)	176.0	安山岩	
第54回	129	8060	石 皿	D-5	(10.8)	(6.9)	(6.0)	531.0	安山岩	
第54回	130	8624	多孔石	C-4	16.2	12.5	12.4	3840.0	安山岩	
第54回	131	7521	上機牙挿	F-5	2.5	2.7	1.0	4.7	—	有孔
第54回	132	9032	粘土	E-4	2.6b	2.7	1.8	8.2	—	
第54回	133	8080	粘土	E-5	1.5	2.25	1.4	2.8	—	
第54回	134	5619	粘土	E-4	1.8	1.8	1.4	2.6	—	
第54回	135	304	細石刀柄?	B-4	2.1	2.5	2.6	11.9	黒曜石	
第54回	136	7702	細石刀柄?	5 挿	1.4	2.0	2.3	6.5	黒曜石	
第54回	137	8585	細石刀?	21 挿	2.0	0.65	0.2	0.1	黒曜石	
第54回	138	1505	細石刀?	2 挿	3.05	1.0	0.4	0.6	黒曜石	
第54回	139	2132	細石刀?	2 挿	2.4	0.45	0.2	0.1	黒曜石	
第54回	140	9149	細石刀?	7 挿	1.65	0.7	0.3	0.1	黒曜石	
第54回	141	9127	細石刀?	D-2	1.5	0.6	0.25	0.1	黒曜石	

第9表 選別出土石器(黑曜石) 要表

遺跡名	石種	種類	用途	下り品	形状	石質	次第上	採掘層	測片	石種	原岩	調査員?	合計
1作							0.7	2.8	2.1	15.3			2.7
2作	0.4						0.1	13.2	2.2	2.3		0.7	20.1
3作					1.4		0.3	5.0	2.2				9.8
4作			13.9						2.2		2.9		22.9
5作	0.3	0.3	0.3		2.8		0.7	20.6	11.9	14.2	4.4	4.1	124.9
6作								1.2	13.4	4.7			29.3
7作							1.5	3.8	4.3			0.1	9.7
1土									4.1				4.1
9土								1.4	1.4				2.8
10土							0.9	0.3	0.1				1.3
11土				1.4			11.0	20.2	2.5				133.7
12土							13.8	14.3					28.1
13土	1.3		1.1				4.0	12.9	0.1	256.7			369.1
14土							2.3	2.1	2.1				6.5
16土		1.8	3.6		1.4		2.8	2.9	2.1	0.3			10.5
17土							1.2	1.2	1.2				3.6
19土							1.1	3.8	4.8				9.7
20土								1.1	1.3				2.4
21土								1.1	1.3				2.4
22土								1.8	1.3	22.2			25.3
24土								1.8	1.3			0.1	3.2
28土									4.8		1.3		6.1
34土								3.3					3.3
37土								0.3					0.3
38土							2.0		0.3				2.3
43土										1.6			1.6
44土									1.2				1.2
45土											47.4		47.4
48土							1.2	1.6					2.8
49土								1.3					1.3
50土								1.3					1.3
64土								1.3					1.3
68土							0.9	1.3					2.2
71土								1.3					1.3
75土									1.6				1.6
77土									1.6	2.4			4.0
79土								0.4					0.4
80土								0.9					0.9
89土								1.4					1.4
105土		1.3						2.2	2.2				4.4
116土								2.8	2.8				5.6
117土								2.8	2.8				5.6
120土							1.3		1.4				2.7
123土								2.2					2.2
127土											1.4		1.4
130土									1.3				1.3
138土								0.2					0.2
138土								0.2					0.2
140土								1.6					1.6
150土								2.4					2.4
151土								3.8					3.8
158土								2.1	2.4				4.5
163土								1.2	1.2				2.4
164土								1.2	1.2				2.4
165土				1.4				1.1	1.4				2.5
166土								2.8					2.8
168土								1.1					1.1
172土							1.3	1.2		10.8			13.3
180土							0.1	1.7					1.8
181土								0.3					0.3
1土	0.2						1.3	1.9	14.4	1.3	1.1		19.2
3土								0.8					0.8
要領外	2.7	1.8	0.4	3.2	10.9		12.7	14.6	14.3	2.8	0.8		101.0
合計	2.9	13.5	39.3	6.0	31.1	1.4	74.1	220.0	219.0	203.9	103.0	0.1	545.8

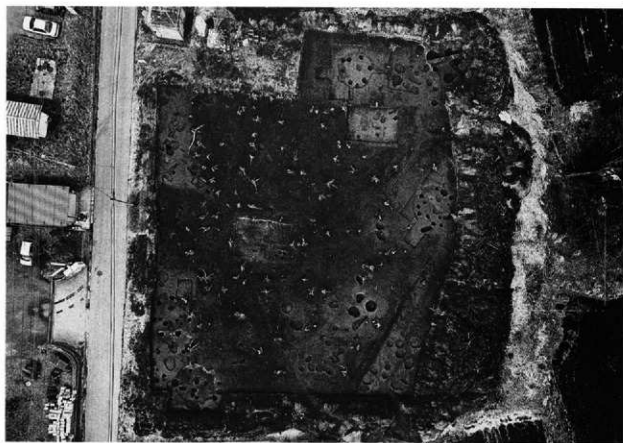
第10表 遺構別出土石器(黒曜石以外)一覽表

遺構名	石種	形制	石器	打削	磨削	人機銃	断片	石錐	球石	投擲	鏃	石錐	多丁石	重錘	石	石	合計
1住																	18
2住																	18
3住																	18
4住																	18
5住																	18
6住																	18
7住																	18
1.土																	18
9土																	18
10土																	18
11土																	18
12土																	18
13土																	18
15土																	18
16土																	18
17土																	18
20土																	18
22土																	18
27土																	18
32土																	18
34土																	18
39土																	18
40土																	18
48土																	18
53土																	18
55土																	18
56土																	18
68土																	18
71土																	18
78土																	18
86土																	18
112土																	18
130土																	18
137土																	18
140土																	18
148土																	18
149土																	18
150土																	18
151土																	18
152土																	18
153土																	18
156土																	18
159土																	18
164土																	18
166土																	18
167土																	18
168土																	18
170土																	18
173土																	18
174土																	18
175土																	18
181土																	18
1庫																	18
遺構外																	18
合計																	18

圖 版



調査区全景（南から）



調査区全景（真上から）



1号住居跡



1号住居跡 炉



1号住居跡 炉周辺遺物出土状況



1号住居跡 石皿出土状況



2号住居跡



2号住居跡 炉周辺遺物出土状況



3号住居跡



4号住居跡



5号住居跡



5号住居跡 埋燵炉①



5号住居跡 埋燵炉②



5号住居跡 ビット2 遺物出土状況



5号住居跡 ビット1 遺物出土状況①



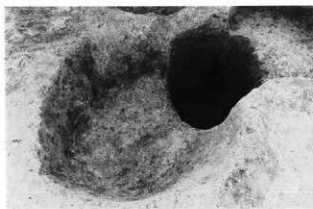
5号住居跡 ビット1 遺物出土状況②



6号住居跡



7号住居跡



9(内)·10(内)号土坑



11号土坑



12号土坑



12号土坑 遗物出土状况



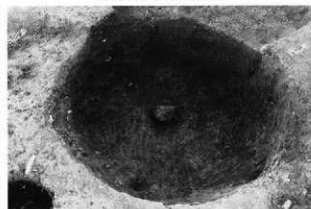
13号土坑



13号土坑 遗物出土状况



14(内)·15(内)号土坑



17号土坑



16号土坑



16号土坑 遺物出土状況①



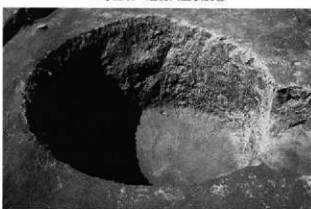
16号土坑 遺物出土状況②



16号土坑 遺物出土状況③



18号土坑



19号土坑



20・23・24・27号土坑



21・22号土坑





5住1



5住2



5住4①



5住4②



5住3



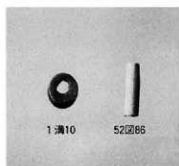
7住1



7住2



16土38



1 溝10

52 溝86



16土37



前期末



杓子形土製品

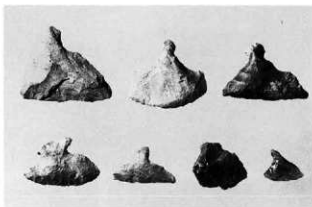
土儀

土製耳飾

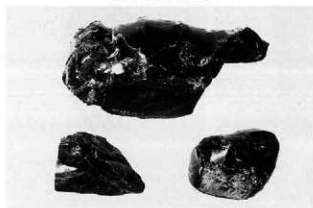
焼成
粘土塊



石鏃、石錘、削器他



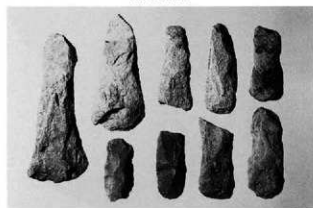
石鏃



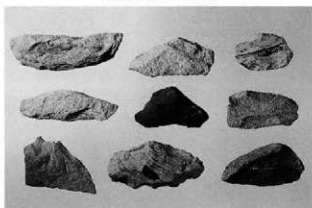
黒曜石原石



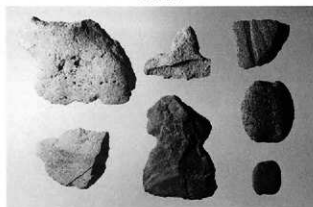
旧石器と思われる石器



打製石斧



横刃形石器



大型粗製石鏃、有溝砥石、石錘



磨石類

報告書抄録

フリガナ	キヨハルシラカバビジュツカンミナミイセキ ハクツツチヨウサホウコクシヨ
書名	清春白樺美術館南遺跡 発掘調査報告書
副題	(新)長坂町郷土資料館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査
シリーズ	長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第25集
著者名	村松佳幸
編集・発行機関	長坂町教育委員会
住所・電話	〒408-0021 山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19 TEL 0551-32-2111 (代)
印刷所	鬼灯書籍株式会社 〒381 0012 長野県長野市柳原2133 5
発行日	2003年3月31日
遺跡所在地	山梨県北巨摩郡長坂町中丸字居久保
遺跡番号	長坂町 No092
1/25,000地図名 位置・標高	長坂上条 北緯35° 49' 06" 東経 138° 21' 29" 標高737~741m
調査原因	(新)長坂町郷土資料館建設
調査期間	2002年1月22日~1999年3月28日
調査面積	1,635m ²
主な時代	縄文時代(前期末、中期中葉~後葉)
主な遺構	縄文時代中期中葉~後葉の竪穴住居跡7軒、土坑181基 溝状遺構1条、焼土跡4基
主な遺物	縄文時代(土器、石器、土偶、土製耳飾、杓子形土製品、石製品、黒曜石原石、 焼成粘土塊) その他(古銭、キセル、釘、墓石)

長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書 第25集

清春白樺美術館南遺跡

2003年3月25日 印刷

2003年3月31日 発行

編集・発行 長坂町教育委員会

〒408-0021 山梨県北巨摩郡長坂町長坂上桑2575-19

TEL 0551-32-2111 ㊞

印刷 鬼灯舎館株式会社

〒381-0012 長野県長野市柳塚2133-5

TEL 026-244-0235 ㊞

